

# 登山時報

2022年9月15日発行(毎月15日発行)  
1987年3月23日第三種郵便物承認  
ISSN 1880-4993

## 10

特集 近畿の山 4編

新連載 考察 雪崩サーチ&レスキュー

2022 No.572

# JWAF CALENDAR 2023



2023年カレンダー  
申込案内

- 表紙 漆崎隆之（十日町おだまき山の会） 凍てつく七高山（鳥海山・七高山）
- 1月 白崎哲史（岳人あびこ） 待ち焦がれた時間（安達太良山）
- 2月 岡孝雄（プリムラ山の会） 登頂を終えて（中央アルプス 宝剣岳）
- 3月 城代隆良（太田ハイキングクラブ） 白銀の獅子ヶ鼻山を目指す（群馬県 武尊山）
- 4月 羽鳥勇（十日町おだまき山の会） 白池と頸城山塊（糸魚川市 戸倉山）
- 5月 柴田尚武（浜松勤労者山岳会） 残雪の尾根を行くほとんど激藪だった（谷川連峰 仙ノ倉山北尾根）
- 6月 土生寿子（みちくさハイキングクラブ） 九重連山とミヤマキリシマ（大船山）
- 7月 橋本紀美子（太田ハイキングクラブ） 咲き誇る（新潟県 飯豊山）
- 8月 後藤茂樹（じねんじょ山の会） 西鎌を超えて（北アルプス 樺沢岳）
- 9月 白澤勝雄（富士見市峠山の会） 北岳から甲斐駒ヶ岳眺望（南アルプス）
- 10月 平野光男（みちくさハイキングクラブ） 尾瀬沼と紅葉（尾瀬）
- 11月 林弘幸（須磨勤労者山岳会） 剣尾根（北アルプス 剣岳）
- 12月 後藤隆徳（裾野麗峰山の会） 今日の凱歌に足取り軽く（富士山・ニッ塚）

価格：1部 **1,430円**（送料・税込）※ 2部 2,590円（送料・税込）、3部以上は要問合せ  
**労山事務所で受取＝1部 1,000円（税込）**

申込み方法：送付先（氏名・郵便番号・住所・電話番号）を明記して送金してください。

郵便振替口座 00180-0-212568 日本勤労者山岳連盟事務局 宛て

会員は所属会を通じて地方連盟へお申込みください。価格も地方連盟へお尋ねください。

23年版カレンダー仕様  
壁掛けタイプ  
364mm × 515mm  
B4 中綴じ・28ページ  
月曜始まり



メコノプシス・ピンナティフォリア

## 天空の青いケシ

ネパール花探索 ②

写真・文 松永秀和



メコノプシス・オウタムナリス

ガネッシュ・ヒマール、標高 4280m

2015年4月、マグニチュード7.8の地震がネパール中部を襲い、各地で大きな被害が出たことは記憶に新しい。私も日本山岳会を通じて義援金を送ったが、何か直接支援できないか考えていた。そんな矢先、梅沢俊氏がガネッシュヒマールで青いケシ探索を行った。このことで、トレッキングでも支援することができると考え、ネパール行きを決めた。

2017年7月、マルデヒマールで花探索を終え、カトマンズから4WDで北に向かった。コダリの国境が閉ざされたため、唯一の中国交易路となった道は大変車と道路工事で大渋滞。夕方遅く着いたガトランにはブルーシートが掛けられたままの家が数多くあった。翌日、クルツプダンダ峠からパルドールに向かってトレッキング開始。ヒンズー教の大祭が行われるジャイスリクンドの手前で、葉が羽状に広がった（英語でピンネイト）メコノプシス・ピンナティフォリアと出会う。ジャイスリクンドは地震で水が抜けていたが、沢筋には黄色い花をつけたM・オウタムナリスが点々と並んでいた。この種は花期が遅いため「秋」（オウタム）から名づけられた。



白毛門より笠ヶ岳と大烏帽子

# 四季の山岳撮影紀行

## 第6回 秋色の谷川岳馬蹄型縦走

写真・文 宮本宏明

上越国境の山々は豪雪の影響で森林限界が低く、標高の割にスケールの大きな山行を味わうことができる。若い頃に行った巻機山から越後駒ヶ岳、苗場山から白砂山、朝日岳から巻機山の藪漕ぎ縦走は、苦労が多かったがどの山行も自分にとって忘れられないものとなっている。

今さら藪漕ぎをしようとは思わないが、今でもこの山域に憧れる気持ちは変わらず、定番ではあるが谷川岳馬蹄形縦走コースもいつか歩きたいと思っていた。夏は暑さが厳しいと思われ、10月中旬に紅葉の撮影を兼ねて実行することにした。

金曜日の夜、21時に自宅を出発。深夜0時を回った頃に水上ICを出る計算だったが、工事渋滞にはまってしまい、谷川岳ロープウェイ下の駐車場に到着したときには午前1時を回ってしまった。車を止めて、すぐにシュラフへ潜り込んだ。



緑の笹と紅葉のコントラストが美しい

土曜日は5時半起床。駐車場のトイレが使えず、一旦土合駅まで下ってトイレを借り、白毛門登山口の駐車場に車を止めた。車の中で朝食を食べ、予定より少し遅い7時出発となった。

白毛門沢の橋を渡るとすぐに急登が始まる。しばらく登ると、樹林の間から谷川岳の岩壁群が見え始めた。標高1150メートルの広場で休憩。日差しは暖かいが、そよ風が吹くと意外に冷たい空気に秋の気配を感じた。松ノ木沢ノ頭まで登ると谷川岳が丸見えだ。先週末の平標山は紅葉が良かったが、こちらは色づきが今ひとつだ。眺めの良い尾根を1ピッチで白毛門の山頂に到着。ここから見る笠ヶ岳と大烏帽子は中腹に雲が影を落とし、立体感のある写真が撮れた。朝日岳への縦走路はアップダウンが続く。紅葉の灌木の中を抜け、笹原の間を上ってゆくと笠ヶ岳。いつの間にか上空に雲が広がってきた。避難小屋が建つ鞍部へ下り、小烏帽子、大烏帽子を

越えて淡々と足を運ぶ。光線条件が悪くカメラを構える時間が減ったため、意外に早く朝日岳に到着した。朝日ヶ原の草紅葉が素晴らしいが、すっかり光が無くなってしまったのが残念だ。

あとは今日の泊まり場の清水峠へ下るのみと思いきや、意外に尾根が痩せており、滑りやすい岩場や泥があり、慎重に歩かざるを得ない。きつちりコースタイム通り時間がかかり、15時過ぎに清水峠に着いた。振り返ると、歩いてきた稜線は完全に雲に包まれていた。

小さな白崩避難小屋は既に満員だった。こんな事もあるうかと念のためテントを持ってきて正解だった。少し先の送電線監視所の前の草地にテントを張り、水場に行つて戻つてくると、続々と登山者が到着し、結局テントが7、8張となった。人気のコースだけあって週末は小屋のキャパを超える登山者が訪れるようだ。隣のテントは、今日一日同じ行程を前後しながら歩い



みるみるガスが消え巻機山へ続く稜線が姿を現した

た、自分と同年代と思われる男性だった。

後半戦となる日曜日は4時半起床。濃密なガスに包まれていた。朝食を食べ、明るくなつてからテントを畳み、6時に出発。

雨具の上下を着込んで笹原の中の道を登ってゆく。広い斜面の上りから次第に稜線がはっきりして風が吹き付けるようになった。緩やかなアップダウンを繰り返して、ぐつと登って大源



滝雲と一ノ倉岳、武能岳

太山への道を分けると、七ッ小屋山の頂上だった。ガスで何も見えず、5分ほど休憩してから蓬峠へと向かう。下り始めると不意に明るくなり、一瞬武能岳が姿を見せたが、すぐに隠れてしまった。天気が回復傾向にあることは確かなようだ。蓬ヒュツテを素通りして武能岳の上りにかかる。頂上直下まで来たところでもまた明るくなり、みるみるガスが切れ始めた。大急ぎで頂上まで登ると、昨日から一緒だった男性に追いついた。何となく人恋しい単独行同士。ちょうど天候回復の瞬間に居合わせ、感動を共有し言葉を交わせることが何となく嬉しい。

上空はすっかり晴れ上がり、歩いてきた縦走路と巻機山にかかる雲がみるみる消えてゆく。行く手に目を転じれば、群馬県側から押し寄せる雲海が国境稜線を越え、滝雲となって流れ落ちていた。ここで1時間近く夢中でシャッターを押し続けた。雲は次第に少なくなり、やがて

滝雲は消えていった。

雄大な光景を満喫した武能岳を後に、茂倉岳へ向かう。一旦下り、気持ちの良い笹の稜線を進み、茂倉岳へは今日一番の上りだ。頂上手前の台地で休憩を入れる。再び雲が増え、太陽が隠れてしまった。茂倉岳から一ノ倉岳へは20分ほど。一ノ倉岳頂上で大休止をとり、昼食にす

る。ここからオキの耳へ続く稜線は、一ノ倉沢側からガスが湧き上がり迫力満点。岩場混じりのアップダウンを進み、途中のノゾキではガスの切れ間から一ノ倉沢を見下ろすことができた。オキの耳まで来ると、これまでの静けさが嘘のような賑わいだ。そのまま通り過ぎ、トマの耳で腰を下ろして休憩。軽装の若者

や家族連れ、そしてツアーの団体で溢れていた。気を引き締めて西黒尾根を下る。登山者のほとんどが天神平からの往復で、西黒尾根に入ると再び静けさに包まれた。岩が非常に滑りやすく、慎重に下ってゆく。鎖に頼らなければ下れないような岩場も多く、長い縦走で疲れた体には少々辛かった。

巖剛新道の分岐を過ぎ、最後の鎖場を通過すると、ようやくブナの中の穏やかな道となった。厚い雲が垂れ込めて暗く、疲れもあり、写真を撮る気力は失せ、淡々と下る。かなり足にきたところでやつと車道に下り着いた。駐車場までのロードがまた長く感じられた。

自宅に下山連絡を入れてから湯テルメ・谷川へ。湯船に入ると、隣から「お疲れさまです」の声が。

驚いて顔を見ると、2日間抜きつ抜かれつした男性だった。話を聞けば宇都宮から来たとのこと。馬蹄形縦走実現までのいきさつがお互いほとんど同じだったので笑ってしまった。

久しぶりにたっぷり歩き、存分に撮影を楽しみ、満たされた気持ちで帰途に就いた。



ガス湧く谷川岳稜線



西黒尾根の紅葉

# 近畿の山

## 大峰山脈の主峰・八経ヶ岳

1915 m・百名山

前 圭一 奈良ハイキングクラブ／奈良

弥山から八経ヶ岳を望む



八経ヶ岳から弥山を望む

### 大峰奥駆道は世界遺産

八経ヶ岳（八剣山または仏経岳とも称されている）は、奈良県の南部・奥吉野地域を南北にのびる大峰山脈の主峰で近畿の最高峰である。ちなみに、大峰山脈は、1936年にほぼ全域が吉野熊野国立公園に指定されており、2004年7月には大峰奥駆道が修験道の伝統を根強

く保持していることが高く評価され、「紀伊半島の霊場と参詣道」の一部として世界遺産に登録されている。

八経ヶ岳一帯は、1922年10月12日に仏経岳原生林として国の天然記念物に指定されている。シラビソ林が北は弥山から頂仙岳にかけて、南は明星ヶ岳にかけて亜高山帯林を形成している。指定地は、シラビソ林約

200 haのごく一部で、八経ヶ岳と弥山を結ぶ稜線の南東斜面約9 haである。ここでは、わずかにトウヒ、ナナカマドを伴う程度でシラビソの純林をなしてきた。

現在シラビソの立ち枯れが広がっている。とりわけ八経ヶ岳・弥山周辺は見るも無残な状態となっている。奈良県勤労者山岳連盟は、1998年から2004年まで立ち枯れ



調査を実施し、2004年9月に『立ち枯れる世界遺産の森 大峰山脈立ち枯れ調査報告書』を発行している。同報告書では、立ち枯れの原因として、鹿による剥皮とともに酸性雨の影響が考えられるとしている。

## 天女の花も激減！

八経ヶ岳周辺は、貴重な植物としてオオヤマレンゲが1928年2月7日に国の天然記念物に指定されている。モクレン科の落葉低木で、関東北部・中部、四国、九州の各地に見られるが、



八経ヶ岳周辺の立ち枯れ



オオヤマレンゲの花

紀伊半島に多産している。かつて八経ヶ岳と明星ヶ岳の鞍部一帯に大群落があった。6月から7月初旬には白色の香りのよい花をうつむけに開く。天女の花とも称えられる大変人気のある花で、シーズン中は近畿各地のみならず全国各地から一目見ようと登山者が八経ヶ岳を目指す。しかし、近年鹿による剥皮が目立ってすっかり見られなくなつたために、鹿の防護ネットが弥山から八経ヶ岳山頂に至る途中に設置され、護られている。

道約6時間30分）と、行者還トンネル西口から奥駆道をとるコース（片道約3時間30分）があるが、現在はコースタイムの短さもあり後者による登山がほとんどとなっている。（以下後者を案内する。）

## 行者還トンネル西口から奥駆道

バス利用の場合、近鉄下市駅から奈良交通バスで天川川合へ（54分）。ここから国道309号線を徒歩またはタクシィで行者還トンネル西口へ。ここに有料駐車場がある。駐車場の手前から谷沿いを進む。小橋を渡り急坂を1時間弱登ると大峰山脈の主稜線（奥駆道）に出る。途中ではブナやミズナラの大木、そして尾根にでると白い花を咲かせるヒメシヤラの木などが見られる。石休ノ宿を過ぎ、奥駆道を出てから1時間ほどで聖宝ノ宿跡に着く。10世紀初頭に奥駆道を再興した醍醐寺の開祖聖宝

理源大師の像が置かれている。ここから少し坂道を登っていくと1時間ほどで弥山小屋に着く。弥山からはトウヒやシラビソといった針葉樹の純林が見られ、八経ヶ岳までの鞍部一帯はオオイタヤメイゲツ（カエデの一種）が多い。弥山から八経ヶ岳まで往復で1時間。八経ヶ岳山頂からは360度の大展望が広がり、登ってきた弥山とともに、頂仙岳や日裏山といった川合からの尾根コースの山々が、また南方には釈迦ヶ岳など大峰山脈の山並みが見渡せる。眼下には白川又川の本流奥剣又谷の溪谷が眺められる。





原田勇成の

# 白神便り

| 第 62 回 |

この秋を思う

昨日（8月9日）から、私の住む青森県深浦町周辺は経験したことがない程の大雨に見舞われている。明けた今日も弱まりはしたが、依然として降り続けている。道路はあちこちで冠水、土砂崩れが発生し、白神の森へと続く車道、林道はほぼ全てが通行止めとなり、被害状況は全く見えていない。天気予報によれば、あと1週間近くは雨の日が続くという。

白神山地へと続く道路は青森県側では県道28号線（通称白神ライン）がメインとなる。弘前市から暗門の滝エリアを経て、日本海へ抜けるルートだ。我が家はまさにその日本海側出口にあるが、おそらくこの道はこのまま冬期閉鎖となるような気がする。となると、この道へと続く赤石溪流線も奥へと続く部分は不通のまま閉鎖となるだろう。まだ誰も調査にも入れ

ていない状況での想像ではあるが、今年の秋、世界最大級のブナの森の黄葉を楽しむことができるエリアは極端に少なくなるだろう。観光化がされていない白神山地だけに、道路事情の不便さは常に付きまとう。だが、観光化の波の外にあるからこそ、世界自然遺産たる森が残ったのも事実。あながち落胆ばかりもしてはられない。今後の工事等の行方を見守るしかない。

秋の森を毎日歩いていると、前日の色付きよりも今日の方が美しいと感じながら森を歩くことになる。数日後、前日の方が美しく思える日が必ず来る。その前日こそが、その秋最高の日ということになる。写真はその日から3日ほど経過した日のもの。落ち着いた雰囲気の中に、少しの寂しさを感じた。

# 登山時報

2022 **10** No.572

表紙写真：宮本宏明

## 「秋煌めく桃洞沢」

天国の散歩道と呼ばれる奥森吉の桃洞沢を訪れた。ちょうど紅葉の最盛期で天気にも恵まれ、浅い流れをジャブジャブと気持ちよく進んでゆく。キラキラと光る小滝、半逆光に輝く紅葉、まるで夢の中に居るような光景が広がっていた。



### CONTENTS

- |    |            |                 |                        |      |
|----|------------|-----------------|------------------------|------|
| 01 | 連載         | 天空の青いケシ         | ネパール花探索                | 松永秀和 |
| 02 | 連載         | 四季の山岳           | 撮影紀行                   | 宮本宏明 |
| 06 | 特集         | 近畿の山            |                        |      |
|    |            |                 | 大峰山脈の主峰・八経ヶ岳           | 前圭一  |
| 08 | 連載         | 白神便り            |                        | 原田勇成 |
| 10 | ふみあと       | 明日に架ける橋         |                        | 川嶋高志 |
| 11 | 連載         | 子づれ山さんぽ         |                        | 武井真理 |
| 12 | 特集         | 近畿の山            |                        |      |
|    |            |                 | 星田 60 座・プチ冒険を楽しめる低山づくし | 中路尚子 |
|    |            |                 | キイシモツケの群生地のある紀州富士・龍門山  | 山入桂吾 |
|    |            |                 | 関西のマッターホルン・高見山         | 水田哲生 |
| 18 | 第 25 回     | 全国自然保護講座 in 滋賀  |                        |      |
| 20 | 新連載        | 考察              | 雪崩サーチ&レスキュー            | 鈴木孝  |
| 22 | JWAF CLICK | 2023 年版カレンダー    | 予約受付開始                 |      |
| 23 | 連載         | 山楽登山の世界         |                        | 中川和道 |
| 24 | 連載         | アドベンチャー・トラベル    |                        | 大蔵喜福 |
| 26 | 連載         | 山登りのための         | やさしい気象講座               | 野尻英一 |
| 28 | 専門委員会      | 活動報告            |                        |      |
| 31 | 全国連盟の      | 活動              |                        |      |
| 32 | マンガ        | フウフウ            | ハアハア                   | 村松孝一 |
| 33 | インタビュー     | ひと              | 吉川幸一さん                 |      |
| 34 | 連載         | 地図読み迷人          | 宮内佐季子 小泉成行 監修：村越 真     |      |
| 36 | 連載         | 会・クラブ紹介         | 東三河山ぽ会                 |      |
| 38 | ミニガイド      | 日光・高山           |                        | 菊池素子 |
| 39 | 筑井孝子の      | ちょっと人物・物をうまく描こう | ／ あらかると                | 石井光造 |
| 40 | 連載         | 山の自由帳           |                        | 篠塚優  |



「登山時報」はリサイクル可能なソイインク  
(大豆油インク)を使用しています。

# ふみあと

第6回「山の日」全国大会が山形県で開催された。収束が見えないコロナや線状降水帯による豪雨が危惧されるなか、記念行事は予定通り実施された。

元々「山の日」は、山岳団体が最初に提案した。国民の祝日にするため国会議員に働きかけた結果、「山の日」制定協議会を立ち上げてからわずか5年で祝日となった。私は登山を代表して活動に関わり、全国大会にも第1回から欠かさず参加しているのだが、最近は実際に山には登ったことがないと思われる議員や行政機関代表の挨拶が目立ち、登山団体の影が薄くなってきた。

## 明日に架ける橋

今回はオプショナルツアーの「蔵王プラン」に参加して、クアオルトウォーキングを体験し、蔵

王古道の由来を学び、アサギマダラの乱舞やコマクサの大群落に出会えた。しかし、記念式典で紹介されていた議員の多くは、公務多忙でこういった「山の恩恵」を体験していないだろう。

また、残念な光景も目にした。世界的にも有名な樹氷で知られるアオモリトドマツが広範囲に立ち枯れていたのだ。200名山、船形山の山麓では、登山道が整備不良、伐採時期を迎えているはずの杉林も放置されていた。写真を見たり話を聞くだけでなく、実際に登山をしなければ課題は見えてこない。仕事や生活に忙しい人ほど山に親しむ余裕を持つて欲しい。

さて、10月開催予定の全国登山研究集会では「伊藤新道復活プロジェクト」の講演が生まれ

ている。伊藤新道は、北アルプス最後の秘境、湯俣川から三俣山荘への登山道で、整備のためにクラウドファンディングを募った結果目標金額を大きく上回った。かつて5本架けた吊橋を3本にして渡渉のある冒険的要素の高いルートになって今秋開通予定である。同時に、夏季には台風の影響、冬季には豪雪となる沢沿いのルートは維持管理の面からは大きな挑戦となる。3本の吊橋が未来の登山文化を創造する原動力となるだろう。

一方、この夏は死亡事故も続いた。世界中で懸命に生きている人々がいる。私たちは甘い判断や準備不足、不完全な知識によって山で命を落としてはならない。共に希望の橋を架け、明日へと繋いでいこう。

(川嶋高志/日本勤労者山岳連盟 理事長)

2021年11月

神奈川県川崎市 / 東京都町田市  
栗平 黒川 真光寺公園  
今回は、準備～出発までのお話

七瀬：6歳4ヶ月  
峻：3歳4ヶ月  
飛鳥：0歳5ヶ月



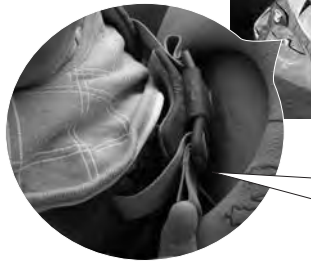
私の体制。前に赤ちゃんを抱っこ＆背中には荷物。  
写真を撮る余裕もなかった…！



こども3人でのおでかけ…荷物の量！七瀬は自分でリュックを背負ってくれますが、それでもかさばります。峻と私のお弁当と水筒（これが重い!）、おやつ、峻と飛鳥のおむつ替えセット&着替え、授乳ケープ、応急手当セット、レジャーシート等々



飛鳥0歳5ヶ月当時、身長約63cm、体重約7kg。ベビーカーに乗ると…写真では、一見安定しているように見えますが、まだ腰が据わっておらず、この体勢ではグラグラ不安定で危なっかかった。ベルトを締めても、まだ隙間もありました。



# 子連れ山さんぽ<sup>®</sup>

vol.63

武井真理 カモシカスポーツ

できるかな？  
行ってみよう！

七瀬 2015年6月生まれ

峻 2018年7月生まれ

飛鳥 2021年6月生まれ

## 《前編》 3人子連れ、家を出るまでが核心部！

2021年6月、七瀬6歳&峻3歳目前の初夏、第3子となる次男・飛鳥（あすか）が誕生しました。仕事は産休及び育児を取得し、無事出産。産後はいろんな人の手を借りての養生ができ、私は順調に身体も回復、飛鳥もすくすく。

飛鳥は生後2ヶ月を迎える頃から、姉兄の保育園送迎のため、ベビーカーで、毎朝夕と外に出る日々となりました（一番上の子の時は、私も、赤ちゃんとの外出に慣れていないので、生後3ヶ月頃まではあまり外出しませんでした）。下の子は早々に強制的に外に出される運命に…！

しかし季節は真夏の酷暑。ベビーカーに保冷シートを敷き、日よけをし…の重装備。危険な暑さに身をさらさないため、外出は必要最低限に済ませる日々でした。そんな暑さから身を守る季節を経て、秋になると、長時間の外出もするように。ちょうどその頃、赤ちゃんの生活リズムもできてきて、首もすわりました。そんな中、飛鳥が0歳5ヶ月になった頃、多摩丘陵さんぽに出ることになりました。こどもが3人と

なつてから初めてです。大人ひとり+3人連れの外出は、それだけで、かなりの緊張感！異年齢のため、3人は身体の発達具合、運動能力がバラバラ。かたや首がすわったばかり、かたや縦横無尽に走り回る…そんな3人の安全に常に気を張っていないければならない…！大人ひとりでの危機管理能力に限界を感じます。しかも、街からちよつと離れた森の中を歩くとなると…危険といっても過言ではない。

そこで、強力な助っ人の友人と一緒にいくことになりました。

七瀬6歳、峻3歳ともなれば、日常生活ではかなり歩けるようになっていました。（峻は3歳になる前にはベビーカーも抱っこひもも卒業）。

しかし、そこへ自力で歩けない赤ちゃんの登場！飛鳥0歳5ヶ月とあつては、まだベビーカーにのせられず、抱っこひもでだっこ+リュックで荷物を背負う体制でした。身体の前後が重いという負担。こども3人の安全への緊張感。

果たして今日無事帰ってこられるだろうかという不安に襲われながら、自宅出発にこぎつけました。家を出るまでが核心部だったかも？



## 星田 60 座・ プチ冒険を楽しめる低山づくし

中路尚子 八尾山の会／大阪

遠景

れており日本の里山の原風景がある山)などが候補に挙がった。どの山も四季折々に仲間と訪れるにはぴったりの魅力的な山だ。大阪府の山は、純粹に大阪府内にあるというのは少なく、多くは和歌山県、奈良県、京都府、兵庫県との境界線にある。八尾山の会で例会としてよく行く金剛山の頂上は奈良県。「分県登山ガイド 大阪府の山」(山と溪谷社)に依ると70もの山が記載されている。

### ほしだ園地の星田60座

両側面壁、地上高16・5mあるクライミングウォール、長さ280m、高さ50mの星のブランコ(吊り橋)、森林鉄道風歩道橋、ピトンの小屋(休憩所)などがある自然公園だ。雄大な吊り橋である「星のブランコ」は全国的にも最大級の吊り橋で、森の四季を空中散歩気分ですれすれ。園内の様々なハイキングコースには、適度なアップダウンがあり「展望スポット」まで登ると遠く市街地まで見渡せる。当会でも「障がい者ハイキング」を実施したコース。大阪近郊のハイキングコースでは人気があるが、星の形をしているわけではない。交野の星の伝説にちなんでつけられたのが「星のブランコ」である。「星のまち☆かたの」というキャッチフレーズのとおり交野市には星にまつわる地名や伝説がたくさんある。

ほとんどが県境にある  
大阪府の山

登山時報編集部から大阪の山の紹介をしてほしいと依頼があり、当会の会員にお勧めの山を募集したところ、高安山(八尾

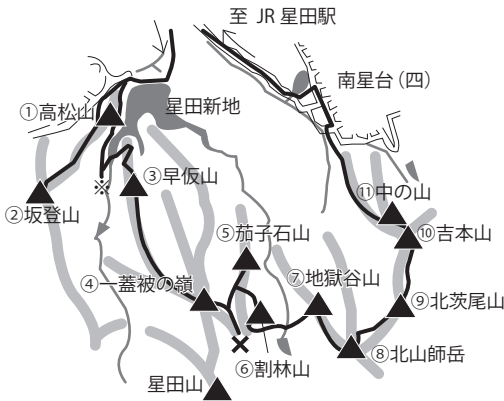
山の会が毎年クリーンハイクをしている地元(山)、高尾山(八尾市の隣の柏原市にある水仙郷で有名な山で、古墳群に囲まれちよつとした岩場もある山)、三草山(大阪府の最北にあり北側には「長谷の棚田」がよく知ら

ほしだ園地は9つある大阪府民の森(注)のひとつで、大阪府交野市にある。生駒山系の最北部だ。垂直壁、正面壁、左右

星田60座、最高峰の羽伏山で284・2m、低山にも関わらずわずか3km四方に60ものピークがあるから驚きだ。そして全

(注) 大阪府民の森はくろんどの森、ほしだの森、むろいけの森、くさかの森、ぬかたの森、なるかわの森、みずのみの森、ちはや園地、ほりご園地の9つである。

# 近畿の山



※…やぶこぎして東へ下った地点  
 ×…道迷いに気づいて折り返した地点

てのピークに小さいが立派な手書きのプレートがある。当会では、この星田60座を地図読みの勉強に活用。GPSに頼らず、地図とコンパスのみでピークを探す。藪こぎあり、激下りあり、竹林の中あり、倒木ありのなんでもありのチャレンジ山行。標高差もあまりなく、低山で危険個所もなく安心して遊べる山であるが、こまめなアップダウンがあるので体力、筋力も結構使う。滑る、泥んこになる、根っこに引っかかる、道に迷う(分岐点が多く、行き過ぎる)：高



ほしだの森にある星のブランコ。全国的にも最大級の規模を誇る人道吊り橋



南宗円山ピークにある手書きのプレート

山なら危険極まりないが、低山ならプチ冒険で楽しく行えるが、決して侮れない。ピーク探しもオリエンテーリングのようで楽しいが、意外と道に迷う。ここに一筆書きしながら1日で一気に歩く強者もいる。当会では読図山行として4回行ったが、まだ全制覇できていない。なぜなら、地図読みがなんととっても難しい。図面は2020年10月に読図山行した時のGPS軌跡の略図である。記録した会員は山行中スマホは見えない。我が会のチャレンジはまだまだ続く。

## YAMAPによると、以下が60座のピーク

- 1：新宮山 (68・0m) 2：高岡山 (76・6m) 3：交野山 (83・2m) 4：女山 (110・3m) 5：旭山 (141・3m) 6：早刈山 (142・3m) 7：高松山 (154・0m) 8：坂登山 (157・9m) 9：夫婦石山 (173・8m) 10：南夫婦石山 (188・7m) 11：西谷山 (208・5m) 12：国見嶺 (251・4m) 13：日高山 (260・7m) 14：中尾山 (236・6m) 15：細栗山 (208・5m) 16：佛底山 (258・7m) 17：東佛底山 (263・5m) 18：血谷山 (275・3m) 19：池之内山 (279・7m) 20：南池之内山 (274・1m) 21：星田山 (278・0m) 22：星海山 (264・6m) 23：割林山 (242・3m) 24：一蓋被の嶺 (248・2m) 25：茄子石山 (212・0m) 26：広望丘 (182・0m) 27：地獄谷山 (241・5m) 28：北山師岳 (269・5m) 29：西茨尾山 (257・5m) 30：茨尾山 (266・2m) 31：弁財天山 (258・8m) 32：北茨尾山 (247・2m) 33：吉本山 (223・2m) 34：中の山 (196・0m) 35：奄山 (133・8m) 36：石橋山 (179・8m) 37：抜谷嶺 (185・6m) 38：宗円山 (207・3m) 39：南宗円山 (209・6m) 40：地藏谷山 (227・6m) 41：馬木嶺 (249・8m) 42：大谷山 (266・4m) 43：南大谷山 (264・3m) 44：東小松山 (267・8m) 45：羽伏山 (284・2m) 46：踏割石山 (278・7m) 47：木根山 (268・0m) 48：地藏ヶ谷山 (227・6m) 49：飯盛小山 (274・2m) 50：小判嶺 (244・3m) 51：白峯 (214・2m) 52：菖蒲ヶ滝山 (219・5m) 53：穴虫山 (197・1m) 54：日南山 (188・0m) 55：馬が嶺 (104・3m) 56：哮峯 (187・8m) 57：南谷山 (192・0m) 58：鴻ノ巣山 (164・7m) 59：妙見山 (143・4m) 60：堂跡嶺 (ゴルフ場内なので行くのは無理)

ぜひ多くの人がこの楽しい星田60座に読図しながらチャレンジしてもらいたい。そして踏み跡もままならない未知なる道がしっかりとした登山道になって、星田60座が少しメジャーになると嬉しい。



龍門山

## キイシモツケの群生地のある 紀州富士・龍門山

山入桂吾 紀峰山の会／和歌山

小川沿いに進み、J R和歌山線・粉河駅からの道との交差点（駐車場から約5分、粉河駅から約30分）を右折し集落の中を歩く。コンクリートの坂道を登り、一汗かいた頃、周囲には果樹園が広がる。「フルーツ王国」紀の川市は四季を通じて様々な果物が実る。今はイチジクや桃の出荷の最盛期だ。また、柿やみかんの青い実も収穫の時に向けて夏の日を浴びている。35分ほどで田代コースの登山口に着く。

### 田代コースで田代峠をめざす

ここからは木々の間を登っていく。日差しを避けられるのでありがたいが、湧き水もあり滑らないよう気を引き締める。幾種類もの蝉の合唱の中、鶯が春先から鍛えた喉でいい声を聞かせてくれる。途中、和歌山県連盟の名が入った「ゴミは持ち帰りましょう」の立て札が出てきた。毎年6月のクリーンハイクを紀峰山の会が龍門山で実施し

ている。最近、登山道にゴミは見当たらなくなったとの報告がある。駐車場から約1時間40分で田代峠に到着。ここから南の<sup>とみぶち</sup>鞆湖地区へ降りるルートもある。また、東の飯盛山に続く登山道もあるが、歩く人が少ないせいか荒れている。今回は尾根筋を西進して龍門山山頂を目指す。

### コンパスが狂う磁石岩？

6月初めの山頂は  
キイシモツケの群生

山頂手前、駐車場から約2時間10分で磁石岩に着く。岩全体が磁石となっている蛇紋岩でできている。コンパスを岩に近づけると、磁針が真逆さまに振れるのがおもしろい。磁石岩付近から北に目をやれば、紀泉山脈越しに六甲の山々や明石海峡大橋を望むことができる。

三角点の表示を過ぎて、8時40分、山頂へ到着する。立てられた札には「龍門山県立自然公園」と記されている。山頂付近

和歌山の低山を歩くのに猛暑の夏は向かない。だが、登山時報の依頼を記憶で書くわけにもいかず、歩いて確かめねばなるまい。というわけで、7月末の早朝、和歌山市内から車を東に走らせた。目的の山は和歌山県

紀の川市の龍門山。紀ノ川沿いから見る姿は紀州富士と形容される和歌山自慢の山である。早朝午前6時過ぎ、自分たち以外には1台もない登山者用駐車場から石田道幸氏（紀州山友会）と同行。まずは登山口まで、





和歌山県にのみ分布するキイシモツケ



キイシモツケは5月～6月に多数の白い花を咲かせる



磁石岩全景



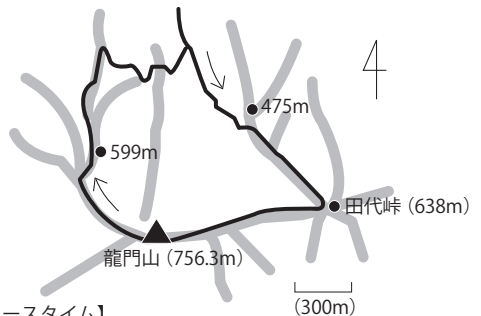
龍門山山頂

にはキイシモツケの群生地があり、案内板には「和歌山県だけに分布する貴重な植物で蛇紋岩地帯に好んで生育し、6月上旬ごろ、白い花を咲かせます。」と書かれている。今回は見られなかったが、花の季節には多数の登山者が訪れるのだろう。ただ、眺望を確保するためか刈り取られたところもあり、自然公園の名にふさわしい整備をするべきと感じた。

次々と降りていく様は壮観。龍門山の名の由来・明神岩

登山道を右にそれ、風穴のそばを通って明神岩に登る。伝説では、「この山に住み着いた大蜘蛛を退治するためにやってきた朝廷軍の大將が九頭龍王をまつる神社で祈りを込めると、山頂より下がった峰から岩石と雨風が吹き上がり、洪水が起った。その後、ぽっかり空いた穴から龍王が現れ、大きな岩に顔を乗せて大蜘蛛のいる山頂をぐつとにらみつけ、激しい戦いを繰り広げ勝利した」とあり、この頭

を乗せた岩が明神岩で、龍が出現した穴を風穴と言い、龍門山の名の由来となった場所である。明神岩の寄り道から戻って、ひたすら降りる。10時には中央コース登山口に着き、10分ほどで田代コース登山口に戻る。私達と入れ替わりに一組の男女が田代コースを登っていった。お互い暑い中ご苦労なことだ。ここからは来た道をたどり、11時前に駐車場に到着する。多くの和歌山県民、そして県外の方に、春夏秋冬それぞれの紀州富士・龍門山を満喫して欲しいと願っている。



【コースタイム】

登山者用駐車場 > 35分 > 田代コース登山口 > 1時間 > 田代峠 > 40分 > 磁石岩 > 10分 > 山頂 > 2時間 > 明神岩經由登山者用駐車場

# 関西のmatterホルン・高見山

(たかみやま・1248 m)

水田哲生 奈良勤労者山岳会／奈良

## 四季折々楽しめる 奈良・三重県境の山

奈良県の山として、高見山を紹介する。高見山は、奈良県と三重県の県境に位置し、大台ヶ原山地と高見山を南北に結ぶ台高山脈の北の端の山。遠くから望むと、三角形の形で、奈良県内の他の山から見てもよくわかる形をしていて、関西のmatterホルンと呼ばれている。

頂上には高角神社があり、祭神として、神武天皇東征の先導を務めた八咫鳥建津命が祀られている。奈良では神武東征に由来した伝承が多く、山に残っている。また、和歌山から伊勢に向かう伊勢南街道が、高見山のすぐそばを通り、登山口である小峠、大峠（高見峠）を経て、旧伊勢の国である三重県と繋がっている。県境が、大峠となっている。

冬は、樹氷で有名な場所、樹氷専用のバスが運行され、四季を通じて楽しめる山である。

冬以外の季節は、近畿日本鉄道の榛原駅から東吉野村のコミュニティバスを利用することになるが、本数も少なくあまり便利ではないので、車で行く方が便利だ。駐車場は、杉谷登山口付近の国道166号線の道沿いにある。さらに旧道の高見峠（大峠）にも駐車スペースがある。

## 杉谷登山口から登る コースを紹介

杉谷のバス停から少し西側へ国道を進むと、民家の横に登山口がある。山の斜面沿いに登っていくと、すぐに石が敷かれた道となる。伊勢街道の名残なのだろう。途中には、塩、米、魚などの交易が行われた市の跡や、旅人が休んで、虱とりをしたという場所も残っている。そんな旧跡を過ぎると、雲母曲という急な坂を登る。途中、崩れた跡があり、谷側にう回路がある。さらに杉林の中を進むと、小峠に着く。小峠をそのまま直進し

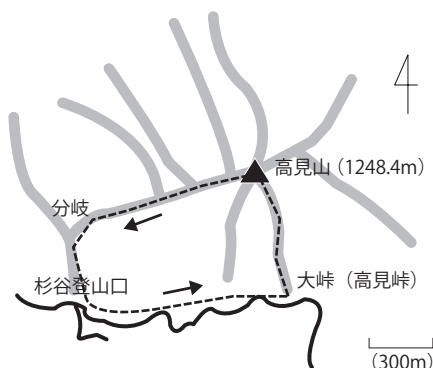
て、高見山へ登ることもできるが、今回は小峠から大峠へ向かう。大峠への林道を東に少し進み、林道ゲートの手前の左側の植林の中に登山道がある。この登山道を登ると、ちょうど高見山のふもとを回るようにして大峠に着くことになる。大峠には、トイレがあり、高見山への登山口の鳥居がある。山頂へは、ジグザク道を登りながら尾根沿いに行くと灌木帯から草原へと変わってくる。すると頂上に着く。頂上には高角神社の社と避難小屋がある。避難小屋の屋上は展望台になっており、そこからは、北は宇陀、曾爾の山々、鍛岳、兜岳、俱留尊山、東は三重県、山々、南は、薊岳、大普賢岳などの台高、大峰の山と360度の展望を楽しむことができる。避難小屋自体は、壁に隙間があり、ブルーシートで補修されているが大分傷んでいる。冬は結構寒いので、利用する場合は防寒対策に注意だ。以前から奈良県連は、東吉野村や管轄する



高見山山頂夏



高見山山頂冬



【コースタイム】

杉谷登山口>1時間>小峠>40分>大峠(高見峠)>1時間10分>高見山>30分>平野・杉谷分岐>15分>小峠>50分>杉谷登山口

【たかすみ温泉】

TEL 0746-44-0777

営業時間 11:00~21:00

入浴料・大人500円 ※コロナ対策のため入場制限あり

奈良県に小屋の補修を要請している。

## 下山後、たかすみ温泉で汗を流そう

さて下りは、西向きの尾根を下る。途中、笛吹岩、揺岩など

がある。杉谷と平野の分岐から今回は、往路を戻って、杉谷登山口に下山する。平野方面に下山すると「たかすみ温泉」へ下ることになる。交差登山するなどの工夫をすれば、平野へ下ることもできる。今回は紹介しないが、平野への下りは、途中、

ほとんど壊れかけた避難小屋跡や、高見杉と名付けられた大きな杉の木があり、目印となる。往路の小峠に下り、杉谷へ下山すると、杉谷から「たかすみ温泉」は4km程だから、車で来た場合は汗を流して帰るのも良いだろう。

# 第25回 全国自然保護講座 in 滋賀

2022年7月9日(土)～10日(日)

主催：日本勤労者山岳連盟（自然保護委員会） 主管：滋賀県勤労者山岳連盟



参加者集合写真：比良山岳センターにて  
講師の若松伸彦氏（前列右から3人目）

滋賀県連 13名、岐阜県連 1名、京都府連 3名、神奈川県連 1名、奈良県連 2名、岡山県連 1名、和歌山県連 2名、山口県連 1名、千葉県連 1名、愛知県連 1名、東京都連盟 2名、全国自然保護委員 8名、全国連盟会長 1名、講師の若松氏を入れて総勢 38名の参加。夕食は同センター食堂で、ご当地の仕出し屋さんの豪華弁当と、持ち寄りのお酒で交流した。

第25回全国自然保護講座は、2000～3000年生きてきたブナ林を伐採するという『美浜・新庄ウインドファーム発電事業（仮称）』の自然環境破壊の問題点を全国の仲間知らせたいとの思いから、当地を選択した。当初福井県で予定していたが、福井県での開催が困難なため、

隣県の滋賀県連自然保護担当の倉内光代さんや宮内真子理事長が、2019年から積極的にか



開催地滋賀県連を代表して挨拶する友永滋賀県連会長

の問題に取り組まれていた事から、日本一を誇る琵琶湖を有する滋賀県大津市「比良山岳センター（比良げんき村内）」で開催した。本講座開催のきっかけは日本自然保護協会が発行する機関誌「自然保護」（2021年9・10月発行号）で「3000年生きたブナの巨木を風力発電の建設で伐採しないで！」と題した滋賀山友会会員の小さな囲み記事を目にしたからでした。福井県野坂山地・庄部谷山・芦谷山（福井と滋賀両県境に跨る山塊）は中世から森を守り、郷を潤してきた山々。その森は、ブナをはじめとしてトチやサワグルミ、カツラの巨木が林立する様は息を呑むような豊饒な山塊である。このような人類にとってかけがえのない自然や環境が風力発電用の風車を建設するために壊されようとしていることに憤りを覚え、開催に至った。

9日の講座が始まる頃は、雷と土砂降りの雨の中ではあったが、講演会場の会議室はほぼ一



データを基に講演する若松伸彦氏

杯で、熱気に包まれていた。初めに滋賀県連盟の友永芳利会長が歓迎の挨拶を行って始まる。講演は、NACS-J（環境NGO）の若松伸彦氏（日本自然保護協会、保護・教育部保護チーム室長）にお願いした。若松氏は既にこの問題について滋賀県連の皆さんたちと、現地視察や滋賀県知事に対し意見書を提出する提言などを行って当講座の講演に打って付けの講演者であった。若松氏は環境アセスと自然保護について講話され「地域の方々にとって身近な自然環境はとても大切な財産。それら



200年以上の立派なブナ林 稜線上にて  
撮影・写真提供：倉内光代さん（2022.7.10）



切り倒されたブナの巨木  
撮影・写真提供：倉内光代さん（2022.4.10）



立派なブナの巨木と参加者（庄部谷山  
稜線にて）  
撮影：竹本



参加者 24名 観測用鉄塔前にて  
撮影：竹本



工事の一部は既に進められている。  
風力観測用鉄塔（H ≒ 50m）

を著しく損なう開発事業に対し  
ては、強い意見表明を行うべき  
である」と発言。会場から「巨  
大風車のウインドファーム発電  
事業による自然破壊から森や林  
を守るため私たちに出来る事  
は」との質問に①環境アセスを  
知ること、②環境アセスが適切  
に行われているか、環境保全に  
関する基準や目標が達成されて  
いるかチェックが必要。TVや  
新聞マスコミ等メディアを通し  
て注目され、そうしたことが地  
域・住民に知れることでの連携  
が大事と回答。又、今後日本中  
で400以上の発電事業が計  
画されているが、ブレード（風  
車の羽）の寿命は何年くらいで  
すか？との質問に約20年でその

更新には資金が必要となる。資  
金がない業者が請け負った場  
合そのまま放置されるか、地元  
自治体の負担となるのでそうし  
た懸念材料に対し検討も大事と  
回答された。  
若松氏の講演後、徳島から「四  
国地方における風力発電」と称  
して片山博之委員が報告した。  
長野県からの風力発電建設計画  
の報告予定が、報告当事者が緊  
急の用事で来られなくなり資料  
のみの報告となった。3番目に  
「南アルプスを壊すリニア計画」  
と題して竹本が報告した。4番  
目に「全国の風力発電計画」を  
山本尚徳委員が紹介した。

10日は現地視察という事で、  
5時起床、6時半出発で福井県  
までマイクログラスで移動。道の  
駅でトイレを済ませ8時半登り  
口に到着。視察場所は庄部谷山  
（856m）直下に作業用林道と、  
建設されている風力観測用鉄塔  
までとした。稜線地帯は、見事  
なブナが林立し途中幹回り3m  
近く樹齢200年以上はあると  
いうブナを見ながら登山した。  
関電の鉄塔巡視用山道を、赤テー  
プを目印に風力観測用鉄塔まで  
歩いた。コロナ禍のため感染予  
防対策や、トランシーバーを3  
機準備し安全に配慮しながら実  
施した。心配した天気も何とか  
持ち堪え、参加者全員無事目的  
の行程をこなすことが出来た。  
遠方の帰省者の時間も配慮し同  
山岳センターに早めに終結し、  
竹本が「今回の自然保護講座の  
内容を連盟や会員に報告してい  
ただき自然環境保護の意義を拡  
散していただきたい」と講評し、  
2日間の講座を締めくくった。

（竹本幸造／自然保護委員長）

考察

# 雪崩サーチ & レスキュー

鈴木孝

労山全国雪崩講習会技術顧問

表 1

	埋没人数					3人以上の割合
	1人	2人	3人	4人(以上)	5人以上	
スイス(注1)	72.7	15.5	5.8	3.2	2.8	11.8
アメリカ(注2)	85	10	5			5
スウェーデン(注3)	84.7	9.7	2.7	1.2	1.2	5.1
フランス(注4)	78	13	7		2	9
日本	(注5)	32	23	19	26	45
	(注6)	47.2	21.5	12.0	6.0	13.3

注1: SLF Davos, 2000  
 注2: BCA 講習資料 (2015年1月)  
 注3: 2009年 国際スキーパトロール総会報告書 (RECCO 発表)  
 注4: ARVA 2022/23 カタログ  
 注5: JAPAN AvSAR 雪崩インシデントへの対応 (1991-2017 死亡事故のみ)  
 注6: 私的調査 (2000-2022 生存救出を含む)

## 日本は多数埋没の特異国

日本の雪崩事故では圧倒的に多数埋没が多く、その対策が必須になるはずだと思うのですが、その必要性を感じている人はどれ程いるのでしょうか。多数埋没捜索には、弊害が多々ある事も強調しておきます。

2007年2月の八甲田での雪崩事故では14人が遭遇、400名を超えている関係者の活動でも、6時間半近く掛かりました。2017年3月27日の那須雪崩事故でも48人が遭遇、484名の人員が活動し、9時間半近く掛かりました。いずれの事故も、報告書からは嵐に近い状況下で、困難を極めた救出活動でした。

表1で判るように、海外では圧倒的に単独埋没が多いのですが、日本では3人以上の多数埋没が驚く程多く、特異な状況となっています。

なぜ夏道を歩くの？



写真1

登山道が無くても冬季は積雪があれば、より安全な所を歩けるのに、なぜ雪崩リスク地形(地形の罫)である谷筋を団子状態で歩くのでしょうか。雪崩が発生すればデブリが集中するので、深い埋没は避けられず、グループ全員が遭遇する事も。

また、雪崩見通し角の認識も必要で、危険箇所では互いの間隔をあける事が求められます。

写真1は2021年1月31日に、宝剣岳直下で発生した雪崩に5人が遭遇後に、フェイスブックで公開された注意文ですが、『冬季の一般的なルート』とされたルート上で、2021年3月14日に5人が遭遇する雪崩事故が発生しました。

誰かが付けた踏み跡を、危険であろうと安易に辿る登山者が多くいます。また、山スキー等で滑った後に、雪崩の危険地帯を再集合地(リグループ)に選んでいる一団も多々見かけます。雪崩のリスクをなんら認識していないのでしょうか。

### バイスタンダーレスキュー

雪崩受講生で自分は雪崩ビークンを持っていくのが会の仲間が持たないので、山では携帯しないという方がいます。最近では雪崩事故が発生すると、周囲から駆けつけて(バイスタンダー)救助される事例が増えています。携帯していれば救助される確率が高まりますので、必ず携帯しましょう。しかし、たまに電源を入れ忘れる人がいて、多くの捜索時間が掛かっています。埋没時間が長引けば窒息による死亡や低体温症に陥る事も出てきます。電源は忘れずに。

日本はスイス型なの？

図1のスイス統計では埋没時間18分で、生存率が急激に下がっています。日本でも、この18分を救出目標とする講習会、書籍、事故報告書などがあります。しかし、カナダ統計では10分で生存率が急激に下がっています。

CMAJ (注7) April 2011発行の『Comparison of

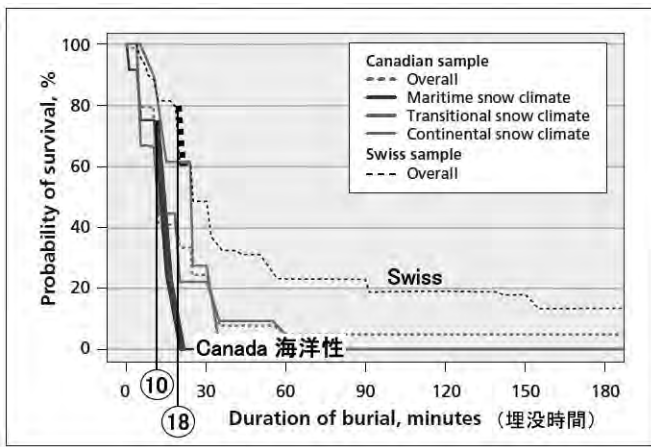


図1

avalanche survival patterns in Canada and Switzerland』の中で、【生存段階は一般的に約18分と報告されていますが、我々の分析によれば、最初の10分はカナダや海洋性降雪気候を持つ他の地域にとってより適切な一般のガイドラインになる可能性があります。】との記述があります。一部の人達が18分を受入れて広めていますが、日本はスイスのような大陸性気候ではなく、カナダと同じ海洋性降雪気候ではないでしょうか。

### 世は10分にシフトしている

岳人2012年5月号の『講演会 山岳救助 世界の最前線』の記事で、【ICAR (注8) の新ガイドラインでは10分と縮められた】と紹介があります。また、日本雪崩ネットワークや日本雪崩搜索救助協議会でも、2017年から10分を採っています。ニュージーランドの【雪崩搜索救助・準備ガイドライン2

014】でも10分です。

救出目標値が二つに割れていますが、前記2011年のCMAJ資料を基に異なった時間を提唱しているのです。以前は18分だったH. Bruggler氏も、2021年5月の札幌での『登山医学会学術集会』で【救出・10〜15分】を提示しています。世の流れは生存救出10分に変わっているのですが、なぜか日本では浸透していません。

では、登山は何分でしょうか？

2014年10月発行の『雪崩事故を防ぐための講習会テキスト』にある図4-1において、図1と同じCMAJ資料を参照していますので、参照願います。

ここでは10分に焦点を当てたのですが、残念ながら取り入れられず、15分を救出の目標値にしています。18分に移行しなかったのが、せめてもの救いですが。

### 地域による生存率の違い

なぜ地域によって、生存率が

急激に下がる時間が違っているのでしょうか？

【大陸性】と【海洋性】の気候の違いによる、乾雪と湿雪という雪質の相違もあると思います。湿雪は水分が多い分、空気が少なくなります。それが生存に重要なエアポケットにも影響してくるのでしょうか。

また、浅い埋没のスイス、深い埋没のカナダ・アメリカと、地域によっても埋没深さに違いがあるようです。日本は個人的な調査から、深い埋没の多い北米に近い分布に見えます。

出来る限り早い救出を！

日赤の救急法講習では【カーラーの救命曲線】から、【呼吸停止10分で50%の死亡】を述べています。本来は雪崩救助においても、これを採用すべきなのではないでしょうか。また、【ドリンカーの救命曲線】では【4分】となっていて、出来る限り早い救出が望ましいでしょう。

会員の写真でつくる

# 2023年カレンダー 申し込みスタート



表紙：漆崎隆之（十日町おだまき山の会）「凍てつく七高山」（鳥海山・七高山）

来年の労山カレンダーが間もなく完成します。会員から写真を募り、応募総数189点から13点が選ばれました。選考はフォトグラファーの小松由佳さんに依頼し、7月5日に全国連盟事務所で行われました。

サイズ等の仕様は2022年版と同様です。土日が横並びになる「月曜日始まり」の体裁を採用し、週末の予定が書き込みやすい作りになっています。ぜひ、登山計画を書き込んで使ってみてください。

## 写真選考の所感 小松由佳

今年もたくさんの方の応募をいただき、息を呑むような山々の写真が勢ぞろい。例年同様、13枚を選ぶのに苦労しました。選考にあたっては、写真としての美しさだけでなく、山々の多様な魅力や、一瞬を切り取った面白さが凝縮されているかも見せていただきました。

表紙写真の「凍てつく七高山」は、冬山の厳しさが凝縮されたユニークな一枚。1月の「待ち焦がれた時間」は、未知の境地へ進む気概が感じられる作品です。2月の「登頂を終えて」からは、厳冬の山の荘厳さが、3月の「白銀の獅子ヶ鼻山を目指す」からは、春の気配がありありと伝わってきます。4月の「白池と頸城山塊」は、芽吹き始めた木々の緑が池に映り、圧巻の光景です。5月の「残雪の尾根を行く ほとんど匂いまでもが伝わってくるような臨場感あふれる一枚です。6月の「九重連山とミヤマキリシマ」は、ミヤマキリシマの鮮やかなピ

ンク色に心躍る作品です。7月の「咲き誇る」は、乱れ咲くコバイケイソウに、夏山の爽やかな空気を感じます。8月の「西鎌を超えて」は、北アルプスの奥深さが感じられる一枚。9月の「北岳から甲斐駒ヶ岳眺望」からは、秋へと様相を変える山の雰囲気がありありと伝わってきます。10月の「尾瀬沼と紅葉」は、目の覚めるようなナナカマドの赤色に、凜とそびえる燧ヶ岳が美しいですね。11月の「剣尾根」は、厳冬期へ向かう剣尾根の、迫力ある一枚です。12月の「今日の凱歌に足取り軽く」は、仲間たちと歩く山登りの楽しさ、喜びが伝わってくる作品です。

いずれも、皆様が日頃から山を愛し、四季の移ろいのなか、心豊かに山と対峙されていることをうかがわせる作品でした。こうした美しい日本の山々と、その文化を、次の世代へと繋いでいきたいものです。今回も沢山の応募をいただき、どうもありがとうございます。



# 山楽登山の世界 essay

## ⑥ レビュファのアルピニズム、 宇宙人に届いてください

中川和道 OWC大阪勤労者登攀クラブ／大阪

登山の写真が太陽系を超えて宇宙を飛んでいる。1977年打上げの宇宙探査機ボイジャー1号2号搭載の「ゴールデンレコード」だ(Wikipedia、書籍、YouTube参照)。

私の関心は登山文化がどう記載されたかだ。図はYouTube「ゴールデンレコード」再生時間1:05:14の加工画像。背景にはストラヴィンスキー作曲のバレエ音楽「春の祭典」の核心部「生贄の踊り」がとどろく。ピナクルにすくと立つクライマーはガストン・レビュファ(近藤等訳『氷・雪・岩』1972)。登山文化の代表画像にアルピニズムが選ばれたのだ。

ボイジャー打上げの際、米大統領ジミー・カーターは宇宙生命に向けたメッセージを入れた。「これは小さな、遠い世界からのプレゼントで、われわれの音・科学・画像・音楽・考え・感じ方を表したものです。私たちの死後も、本記録だけは生き延び、皆さんの元に届くことで、皆さんの想像の中に再び私たちがよみが

えることができれば幸いです」。これを読んで私は考え込んだ。先輩方々が築き上げられたアルピニズムはどうなるのだろうか？(1) 私たち登山の中ではアルピニズムが昔のもの(カーターが言う「死後」)になりつつある、(2) アルピニズムをどう考え直していくのが問われている。レビュファの時代にはまだ無かった

フリークライミングやアイスクライミングが新鮮な哲学をもって華々しく登場し、スポーツクライミングへと画期的に分岐発展しオリンピックへと至った。登山の仲間たちもガイドとして身を立っていく。時代の変化は本当に早い。現時点で画像を掲載するなら、楢崎・野中らが選ばれてほしいかとも、ふと、思ってしまう。

結論だけを言えば、アルピニズムは「クラシッククライミング」(トラッドクライミングも近い)として位置づいていつてはどうだろうか。「クラシック」という名前に輝きや生きがいを感じる若者は決していなくなる。幼少の頃から古典音楽、古典舞踊、古典芸術に心の琴線を震

わせられる、そういう人々の中で、輝きながら発展していく。メジャーでなく最上位でもなく他の分野と対等の位置づけで、個々の選択としてすみ分けあうのがいい。ペートーヴェンやモーツァルトがどうの昔に(何百年も前に)没したあとも、浄瑠璃の先達が没したあとも、水墨画の創始者が没したあとも、AIが部分的に代行しつつある将棋や囲碁の分野でも、クラシックの人気はずっと根強い。それでいい。クラシックは生き続け、変革され、発展していくはずだ。

ボイジャー1号は2004年に2号は2018年に太陽系を脱出し、原子力電源を次々に落として慣性飛行に入った。1号は約4万年後にへびつかい座のAC+793888まで1.6光年の地点を通過し、2号は約29万6000年後にシリウスまで4.3光年の地点を通過するとの期待だ。レコード表面に埋め込まれた半減期45億年のウラン238が、記録作成の時刻を地球外生命に伝える。私たちが、今の時代の登山文化を、どう構築しているのかを……



を……

大阪労山ニュースに連載中のエッセイ「山楽登山の世界」から42回目(2021年9月号 <http://owafnews.aikotoba.jp/kikanshi2109.pdf>)を紹介する。



## 身近な山に残る氷河期の遺物、 標高より気象が影響？



船窪地にいくつか出現する御池とお花畑

私が『エコ登山』の展開をしている南アルプス南部の光岳<sup>てかり</sup>周辺は、世界最南端のハイマツ自生地として知られている。だがもっと南、寸又三山の黒法師岳（300名山）の北方2キロにある丸盆岳（2066m）に一株自生が判明し、南限の地位をすいぶん前に奪われた。ただ、ハイマツ群生ということなら南限に違いなく、これまた南限のライチョウ生息の地と相まって2000～2500m前後の標高であっても氷河期の遺物は残る。温暖化の影響も困りものだが、我が国にはまだまだ特有の多雪、寒冷、強風の気象が残されている。

この7月初旬、北アルプスの前山、常念山脈の蝶ヶ岳（2664m）に、本当に久方ぶりに登った。上高地の徳沢から長堀山<sup>ながか</sup>経由の長堀尾根を行く。樹林帯の中、倒木をまたぎながら我慢のジグザグ登りを3時間余り。景色なんぞは夢のうち、すれ違う登山者もない静寂な時間の中、長堀山頂の三角点2564mに着く。やっと楽になり、その先には二重山稜特有の窪み池周辺に咲く高山の花々に元気づけられた。ここらあたりから1時間、蝶の頂までの自然は北アとは思えないものだ。稜線には灌木、足元には高嶺の花、妖精の池周辺からはハイマツが目立ち、お花畑と一緒にライチョウが目を楽しませてくれる。残雪を登りきると槍、穂高の壮大な景色が目に飛び込んでくる。しばらく息をのむ、雲間に映る一連の屏風は、一瞬の光輪のスクリーンにも。短時間でなんと満足した。



蝶から蝶槍に向かう稜線では二組のライチョウの親子に遭遇した。  
天候がすぐれず、写真はボケボケ？

## 山

稜からの穂高連峰、槍ヶ岳の豪壮な伽藍の壁、昔からこの壮大なパノラマを求めて蝶ヶ岳をコースに組む登山者が多かった。写真愛好者にとつて絶好の撮影台だ。大滝、蝶ヶ常念の稜線はいつの間にか、パ

ノラマ銀座」と名付けられた。遠く富士山や御岳も視野に入る一望に開けた遊歩道である。'57年(昭32)に蝶ヶ岳ヒュッテが出来てから、一段とファンが増えた。ヒュッテの先々代が「この景色は金になる」と、小屋を

建てたという話は有名だ。

## 頂

上にヒュッテができる前は、常念や燕岳への通過点のイメージが強く、また上高地側

登山口の徳沢と横尾からは森林帯4時間以上の登りがネックで、景観を第一にする登山者のみの人気にとどまっていた。その分、自然がたっぷり残ったといえ、別な取り柄となっている。元来、山麓一帯から自然がよく保たれていて、動植物の多いのもこの山

の素晴らしいところだ。かつて、東側の烏川谷には、シラビソの大木が鬱蒼とし、人手の入らない原生の姿が、訪れる者たちを包み込んでくれた。原生の自然に手が入ったのが'67年(昭42)、烏川林道の三股から蝶沢方面まめうち平経由で蝶の頂へ、新しい登山道が秋に完成した。5時間以上かかるが、上高地へのアプローチがない分、日帰りも可能となった。

## 赤

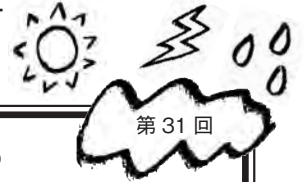
い屋根のヒュッテにお世話になり、翌朝には横尾

に向かう稜線で、ライチョウの親子に出会う。それも2組の子連れ、それぞれ6羽、7羽と微笑ましい。

山頂から南へは明瞭な二重山稜が顕著で、船窪地形ともいわれ高山植物に素晴らしい影響を与えている。稜線に挟まれる船窪地は、雪が溜まって低温と乾燥から守られるハイマツが群生し、東側稜線外側にも多量の雪が積もり、ハイマツやお花畑が多く残されている。カモシカや

サル、鳥類など動物も多く、原始の姿が残された北ア唯一?の癒しの自然である。お花畑には7月中旬から一ヶ月ほど、コバイケイソウ、クロユリ、シナノキンバイ、ハクサンボウフウなどが咲き、蝶はミヤマモンキチョウ、タカネヒカゲなどが彩を添える。

すでに50年も前になるが、自然保護が叫ばれ出した背景を抑制え、自然の処女地ともいえるべき烏川溪谷に最後の開発『国営アルプスあずみの公園』計画が動き出す。その流れには、烏川林道を延長し、その先に蝶ヶ岳の山腹に3・8kmの隧道を、横尾山荘までぶち抜くという前代未聞のプランがあった。松本起点、上高地、烏川溪谷を循環するトロリーバス構想である。幸い計画は反故になり、結果的により広く自然は守られた。無体な計画が進んでいたら今の蝶ヶ岳はない。



# 山登りのための やさしい気象講座

気象予報士・野尻英一

## 悪天候の「後」も要注意 雨の後、高温の後

図1：山岳遭難者の遭難態様別比率（2015～21年）

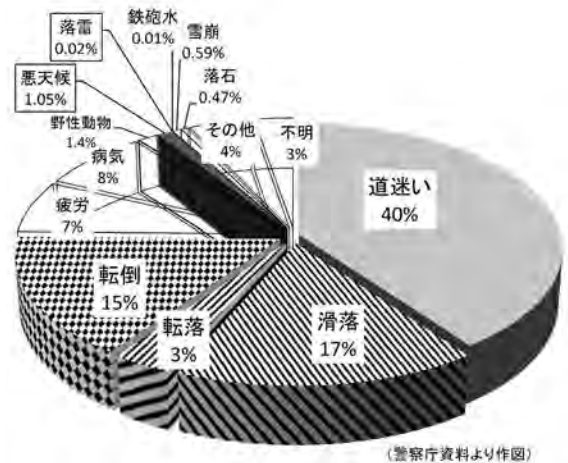


表2：天候による山の状態の変化例

雨	<ul style="list-style-type: none"> <li>谷川や沢の水量増加。流れが速まる</li> <li>山道がぬかるむ。岩場が滑りやすい</li> <li>崖崩れ、崩落、落石が起きやすい</li> </ul>
強風	<ul style="list-style-type: none"> <li>倒木や大枝の落下で通行に時間がかかる</li> </ul>
雪	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山道や踏み跡が消える</li> <li>積雪で行動に時間がかかる</li> </ul>
低温	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山道が凍結する</li> </ul>
高温	<ul style="list-style-type: none"> <li>積雪のある時は雪質が変化。</li> </ul>

た可能性が高いと推定されるものは9件だった（表3）。詳細状況がわからないのでこれだけでは言い切れないが、降雨の後に崩落、剥離、落石といった事故が増える傾向はありそうに思える。手がかりと違って握った岩角が剥がれたり、大丈夫と思っただけで踏んだ土がいきなり崩れるということがあるので、雨の後は手がかりや足場が怪しくないか、万が一崩れたらどうなるか、いつも以上の注意が大切となる。

### 影響の大きい雪面の状態の変化 北横岳の事故例

雨もさることながら、過去天気の影響が大きいのは雪山だろう。それは雪面の状態、雪質や積雪の安定度が、気温、日射、降雪、雨によって変化するからだ。私は「入山前に気温が高く、その後気温が下がる」ときは要注意と考えている。気温が高いと雪面が緩み、場合によっては

山に登るときには大抵天気予報を聞くが、過去の天気がどうだったかを調べることも大事ではないか、というのが今回のテーマだ。なぜなら、山の状態は過去の気象条件に影響されるところも大きいからだ。図1は警察庁が発表した2015～21年の山岳遭難の態様別発生件数だが、実は滑落、転倒、道迷いが74%を占めている一方、悪天候による遭難は全体の1%に過ぎず、実は少ない。滑落や転倒は注意力不足、疲労による集中力や身体能力の低下などが直接の原因になるだろう

### 崩落、落石など 降雨後と思われる事故例

雨が降ると沢や谷が増水するが、雨が止んだ後もその状態がしばらく続く。しかし、沢の水量は見れば

わかるから、水流が激しければそれなりの心構えで入渓するし、場合によれば中止もできるだろう。一方、雨が降ると地盤が緩むが、これは見ただけではわかりにくい。でも、足場の崩落や岩の剥離、落石が起きやすくなっている可能性がある。実際はどうなのか、本誌に毎月掲載されている『事故一報』を1年分（2021年1月～12月号）調べてみた。崩落、剥離、落石が絡む事故は13件あり、そのうち周辺のアメダスデータや天気図からみて、前日または前々日に雨が降っ

た可能性が高いと推定されるものは9件だった（表3）。詳細状況がわからないのでこれだけでは言い切れないが、降雨の後に崩落、剥離、落石といった事故が増える傾向はありそうに思える。手がかりと違って握った岩角が剥がれたり、大丈夫と思っただけで踏んだ土がいきなり崩れるということがあるので、雨の後は手がかりや足場が怪しくないか、万が一崩れたらどうなるか、いつも以上の注意が大切となる。

表3：落石、崩落、剝離が絡む山岳事故と事故発生前の天気  
(2021年1～12月号登山時報「事故一報」より)

発生日	山域	事故の内容	前日、前々日の天気(推定)	
20年	9/20	六甲山	落石で転倒	前々日に雨
	9/21	黒部五郎岳	ホールド剝離。滑落	前日、前々日に雨
	10/11	小樽赤石	ホールド剝離。墜落	特になし
	10/24	鶏冠山	足場崩落。転倒	前日に雨
	10/25	叶山	ホールド剝離。転落	前々日に雨
	12/13	蓬萊峽	足場崩落。転倒	特になし
21年	2/3	長崎(岩屋山)	ホールド剝離。滑落	前日に雨
	5/22	阿蘇山	岩が動き転倒	前日に雨
	6/19	大田切川	落石が当たる	前々日まで雨続き
	7/25	十二が岳	落石が当たる	前日に雨
	7/31	ニトヌブリ	落石が当たる	特になし
	8/7	小樽赤石	踏んだ岩が崩壊	特になし
	9/19	両神東岳	ホールド剝離。滑落	前日、前々日に雨

図4：2015年2月の北横岳滑落事故の数日前からの気象推移  
事故発生3日前に気温が高く雨が降った。その後、気温は下がり平年並みになった。

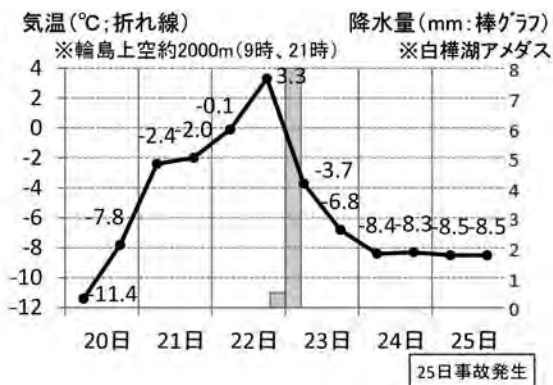
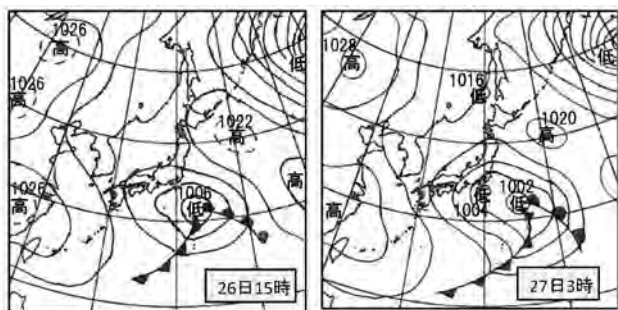


図5：2017年3月の那須岳雪崩事故時の天気図  
事故は27日8時43分頃発生した。関東の南の低気圧により26日夕方から雪になった(左天気図頃)。低気圧の東進(右天気図)に伴い降雪の雪質が変わり、弱層の上に新雪が積もる形が一晩で形成されたとみられる。



側の雪は結晶が平板状になり弱層になる場合がある。つまり、低気圧の接近に従って最初に降った雪が弱層になり、続いてその上に新雪が降り積もるパターンがあるということだ。2017年3月の那須岳の高校生登山訓練中の雪崩事故(図5)でも、こうした弱層の存在が防災科学技術研究所などから報告されている。

融解するが、その後気温が下がればそれが凍結し氷化することがある。実はそのパターンの滑落事故が2015年2月に北八ヶ岳の北横岳(2480m)で発生した。図4が事故5日前からの気温の推移と降水量だが、3日前に気温が上昇し、その後は平年並みまで下がった。北横岳の小屋のブログによると、気温が上がった22日夜は雨になったとのことだ。雪面が融解しただけ

でなく雨水が滲み、その後の気温低下で雪が締めまり堅いアイスバーンになったのだろう。北横岳はロープウェイもあり冬も手近な山として知られているが、同ブログによると北横岳の森林限界以上は急傾斜地のハイマツ帯で、これが氷化していれば100mくらいは簡単に滑落してしまうという。

さらに危険なのは雪崩だ。積雪期

崩だが、これは雪どうしの最も危険な雪崩は面発生表層雪には、先月号で紹介した気象庁ホームページのアメダスデータ検索も「入山前の晴天、高温とその後の降雪」は要注意サインのひとつになるだろう。入山前の気象状況を調べる

結合力が弱い弱層の上に雪が降り積もった場合に起きやすい。弱層のひとつに「しもざらめ雪」があるが、これは晴れた気温の高い日に夜間の放射冷却が重なることで形成されやすいとされており、その上に雪が降り積もると雪崩の危険度が高まる。「入山前の晴天、高温とその後の降雪」は要注意サインのひとつになる。低気圧の前側(東・北側)と後側(北・西側)では気温や湿度の違いから雪質が異なることがあるが、前側

雪崩は雪が降り続いたときにも起きる

参考にできる。

○**労山基金運営委員会**○**労山基金運営委員会**○**全国オンライン説明会を開催して**

2022年第35回全国連盟総会において、「全国的な開催単位として、会・クラブ基金担当者へのオンライン実務説明会を開催する」説明会の第1回目を7月20日19時00～20時00に実施した。

参加者157名（資料請求者のみも含む）実参加者140名であった、事前の質問事項も考慮しつつ、労山基金の歴史・概要、実務の説明を行なった。時間の関係で質疑応答の時間は取れなかったが、説明会終了後、参加者アンケートを寄せていただいた。

運営委員会ではアンケートを集計して要望に答え、労山基金制度の改善を進めていきたい。

アンケートで多くあったご意見は、他の山岳保険との違いと優位性について、オンラインでも良かったが地方連盟で実施してきたように対面式での実施を、事故事例などを含む実務の説明に時間を割いて欲しい、事務手続きの簡素化（給付申請書や事故一報などの

フォームの改善）、基金担当者向けと一般労山会員向けの説明できる施策を、労山基金制度の特殊性から丁寧な説明が必要、など多くの声がよせられました。基金運営委員会では、労山基金リーフレット、基金担当者マニュアル、JWA Fホームページなどの改善を図っていく、質疑応答を中心にしたオンライン説明会実施などを準備して会員の期待に応えたい。

（陶山正／労山基金運営委員）

○**ハイキング委員会**○**「ハイキングA・B・C」**○**第5版発行**

今年度の委員会重点活動のひとつとして議論を重ねてきたハイキングABC第5版の改訂作業が終わり、本誌が皆さんの手元に届くころには注文を受けられる。今回の改訂版の目玉は「ハイキングにスマホをどう活用するか」プログラムの知恵も借りて新しい項目を加えたことである。是非ご覧いただき、今後の為にもご意見、ご質問をお寄せいただきたい。

さて、第23回全国ハイキング交

流集会在、10月1日（土）～2日（日）に山口県連盟主管で山口県セミナーパークにおいて開催される。記念講演はスマホ活用登山に詳しいプロガイドの木元康晴氏。分科会は①会・クラブ運営と会員拡大②山行活動について③安全登山のために予定している。

ところで私の今年の山行回数は講習会を含めて、1月から8月までの間で50回を超えた。栃木県という地理上の特性から、無雪期の日帰りはもちろん、雪山、藪漕ぎ、沢登り、テント泊と多様な山行を楽しめ、また登山口までのアクセスもおおむね1～2時間。まことに登山愛好者にとっては、恵まれた地域に居住していると思う毎日である。

（八木澤昌通／全国ハイキング委員）

○**自然保護委員会**○**リニア新幹線計画から**○**南アルプスの自然を守る**

静岡県内には、労山はじめ（公社）JAC静岡支部、（一社）静岡県山岳SC連盟、静岡市岳連盟の4つの山岳団体がある。2022

2年度も4団体主催の「第5回南アルプス写真展」を開催する。リニア計画により南アルプスの自然や環境を守るため一般市民にも分かる手立てとして5年前から4団体が連携、結束して写真展を行っている。リニア計画により、南アルプスの地下水位が300m低下し、残土は大井川の河川敷に捨てられ世界遺産のユネスコエコパークへも影響が懸念される。「南アルプスは静岡の宝」と称して各団体A4〜全紙の大きさでカラーモノクロ問わず120点程持ち寄り秋に市民ギャラリーにて1週間展示する。既に4回開催したが、毎回800名ほどの来場者がありトータルでは3千人以上の来場者が写真展を観ている。後援は静岡県・静岡市で静岡新聞・中日新聞などにも取材依頼するとともに、会場内で県の自然保護課がドローンで撮影した映像を流すなど幅を広げた写真展を開催する。  
(竹本幸造／全国自然保護委員長)

○遭難対策部

今年6件目の死亡事故発生

7月7日から8月1日までに届いた事故一報は23件23名。

転倒が9名(無雪期7名、登攀2名)。転落が2名(無雪期1名、室内ジム1名)。滑落が5名(無雪期1名、沢登り4名)。体勢が3名(訓練1名、沢登り2名)。落石が1名(登攀1名)。その他3名。

登山形態では、無雪期10名、登攀2名、沢登り9名、人工壁1名、訓練1名。傷病名は、骨折10名、損傷3名、裂傷1名、打撲6名、その他3名。男性11名、女性12名。所属連盟は、東京4名。道央・千葉・神奈川が各3名。大阪2名。道東・岩手・栃木・群馬・石川・愛知・京都・鹿児島が各1名。

年齢は、40代3名、50代8名、60代7名、70代4名、80代1名。

今年6件目の死亡事故の一報が入った。丹沢の沢登りでの滑落事故だった。事故者は、単独で高巻きを行い滝の落ち口と同様の高さ15m程を滑落し死亡した。悪い高巻きを、単独で登攀した事に問題があると考えるが今後の所属会で検証を待ちたい。

今回は、沢登りの事故が9件発生し転倒・体勢が4件、滑落が4件発生している。猛暑の日が多く沢登りの機会が増えるが慎重な行動で転倒・滑落を避けて頂きたい。

登攀では、ビレイデバイスが原因の事故が発生した。ルベルソを使用して降るそうとした時にロープが一気に流れ墜落した。器具の基本的な操作方法に問題が無かったのか。事故の詳細について、所属会の事故調査により検証を行うて頂きたい。

登山口駐車場での事故が発生した。毎年繰り返し起きているが、十分な注意をすれば防げる事故であり入山前の準備には特に注意をお願いしたい。

(石川昌／全国遭難対策部長)

※事故一報の一覧表は次ページを参照してください。

2022年7月7日から2022年8月1日までに届いた事故一報

事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因		傷病名	
1	6.26	東京	62	男	栗原川	沢登り	転倒	下降中、浮石に乗りバランスを崩して転倒した。	肋骨4本骨折
2	6.12	鹿児島	80	男	矢岳	無雪期	その他	登り口で右足がすり筋肉が硬直した状態となった。	右下腿三頭筋損傷
3	6.26	大阪	54	男	三国山	沢登り	滑落	2段滝の下段を登り、足がスリップし約1m下の棚段に着地したが痛みがあった。	右足第5中足骨骨折
4	7.9	愛知	71	女	立岩	訓練	体勢	懸垂下降で体勢を崩して手を木にぶつけた。	右手首骨折
5	7.13	神奈川	59	男	室内ジム	人工壁	転落	トレーニング中、約2.5mより転落、後頭部を強打した。	むち打ち症
6	7.17	東京	54	女	大岳山	無雪期	転倒	両手をついて尻もちをつき額を岩角にぶつける。	尾骨骨折他
7	7.10	千葉	74	男	三頭山	無雪期	転落	下山中、苔があるコンクリート面が濡れていて滑ってバランスを崩し河原へ転落した。	頭部などの打撲
8	7.3	道央	58	女	白水川	沢登り	転倒	入山直後、倒木を超えようとしてスリップし後ろ向きに転倒した。	右肘脱臼
9	7.2	岩手	67	女	磐梯山	無雪期	転倒	下山中、駐車場直前石に踏み転倒した。	右手親指骨折他
10	7.7	東京	60	女	櫛形山	無雪期	転倒	登山口、駐車場で車から降りる際に転倒した。	右肘関節骨折
11	7.9	石川	45	男	清水谷	沢登り	その他	道を覆っていた倒木を谷へ落そうとして木が跳ね返って同行者に当たった。	頭部裂傷
12	7.24	千葉	59	男	笠取山	無雪期	転倒	下山中、林道の木の枝に引っ掛かって転倒した。	右脚打撲
13	7.16	群馬	61	女	トムラウシ	無雪期	転倒	転倒して大きな石に膝を打った。	右足膝打撲
14	7.24	大阪	63	男	クレン谷	沢登り	滑落	右手の外傾ホールドが滑りバランスを崩して滑落した。	左踵剥離骨折
15	7.17	神奈川	49	女	早川広河内	沢登り	体勢	下降中、岩から降りる際に体勢を崩した。	内側靭帯損傷
16	7.25	道央	62	男	当麻岳	無雪期	転倒	登山道がハイマツで隠れている状況で段差が目視出来ず転倒した。	右足首靭帯損傷
17	7.2	道東	64	女	斜里岳	沢登り	体勢	浮石を踏んで左足首を挫いた。	捻挫
18	7.24	東京	65	男	水根沢	沢登り	滑落	トラバース中、足元のざれ場が崩れ5-6m滑落し川に落ちた。	胸と大腿部を打撲
19	7.23	栃木	73	女	鷲羽山	無雪期	転倒	通過するパーティーに道を譲った処バランスを崩し仰向けに転倒した。	左手首粉碎骨折
20	7.23	千葉	50	女	小川山	登攀	落石	岩が身体をかすった勢いで転倒し右肘を岩にぶつけた。	打撲による手の痺れ
21	7.17	神奈川	58	女	箱根屋沢	沢登り	滑落	滝を単独で高巻き中に滝口15mから滑落死亡した。	滑落死亡
22	7.29	京都	75	男	立山鬼岳	無雪期	滑落	雪渓のトラバース中にスリップして20m滑落した。	胸と鼻骨を骨折他
23	7.31	道央	55	男	赤岩	登攀	その他	下降器の操作ミスで9mグラウンドフォールし更に3m滑落した。	脳挫傷他骨折

事故一報の受領順で掲載

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	0	0	1	4	4	2	1	0	12
女性	0	0	1	4	4	2	0	0	11
合計	0	0	2	8	8	4	1	0	23

	墜落	転落	滑落	転倒	体勢	虫	落石	その他	合計
男性	0	2	4	3	0	0	0	3	12
女性	0	0	1	6	3	0	1	0	11
合計	0	2	5	9	3	0	1	3	23

	無雪期	積雪期	山スキー	沢登り	登攀	氷瀑	人工壁	訓練	合計
男性	5	0	0	5	1	0	1	0	12
女性	5	0	0	4	1	0	0	1	11
合計	10	0	0	9	2	0	1	1	23

	骨折	脱臼	挫傷	捻挫	裂傷	打撲	損傷	その他(死亡含む)	合計
男性	5	0	0	0	1	4	2	0	12
女性	5	1	0	1	0	2	1	1	11
合計	10	1	0	1	1	6	3	1	23



3日 遭難対策部会

10～12日 第6回「山の日」全国大会（山

形県山形市・上山市）浦添会長、

川嶋理事長、久保・今野副理事長、

大和田理事が参加。

16日 三役会議

23日 労山基金運営委員会

24日 山岳四団体、第4回コンパス専門

部会

同日 登山時報編集委員会・来期の機関

誌紙会議

25日 第6回理事会

## 第6回理事会、討議事項

①全国登山研究集会について

8月20日から申込受付開始。参加費の振込を確認して正式な受付完了とする。

コロナ禍で対面参加の百名のみと限られた参加定員だが、できるだけ全国各地からの参加を促進したい。

②来期の機関誌・紙について

登山時報は「読み物」中心に季

刊で発行する。毎月発行の連絡・ニュース（名称検討中）をA4・8ページで全国連盟からの案内や活動報告、事故一報や労山基金の交付状況などを発信していく。地方連盟と加盟団体には各1部を紙媒体で郵送し、ホームページ掲載や電子媒体でも配信していく。



蔵王山での「山の日」記念交流登山



山形県尾花沢市、丹生川、道元峡の材木岩

## 登山時報からのお知らせ

月刊誌「登山時報」は2022年12月号を最後に、来年度からは「季刊誌 登山時報」として再出発します。季刊誌は春号・夏号・秋号・冬号の年4回発行する予定です。

これからもご支援をよろしくお願いいたします。

また、月刊紙「(仮称) 登山ジャーナル」A4判8頁建てを毎月発行して、全国連盟の活動報告や行事案内などを掲載していきます。

「季刊誌 登山時報」はA4判と一回り大きくなります。電子媒体(PDF)やJWAFのホームページ上で閲覧できますが、これまで同様に紙媒体・冊子での購読を希望する場合は有料になります。紙媒体・冊子の購読料は年間1000円(消費税・郵送料込)で、冊子は購読者が指定した自宅等に直接郵送されます。詳細は12月号でご案内します。

## FROM EDITOR

世界各地を襲う熱波。気温が著しく上昇、名だたる河川が干上がり船も航行不能、水力発電にも支障、内陸原発の冷却水も確保不能、耕地や森林・草地の砂漠化、山火事多発、氷河・氷床融出で海面上昇。他方で洪水の頻発。気候危機の中で、新しい感染症の蔓延……この地球は助かりますか？(鈴木)

10数年ぶりに北アルプスに登る。初日は雨に遭い苦労しながら蝶が岳ヒュッテに入った。ざっと100名近い登山者で小屋内はあふれ、感染対策に抗する密状態。さらに換気がほとんどない。加えて濡れた衣類や雨具の干場も狭く、乾燥機器もなし。従業員の対応も含めて小屋経営者の登山者に対する対応に不信感を抱いた山行だった。(田上)

コロナ禍で登山環境は変わった。インフルエンザのようなワクチンが開発されて毎年接種できるようになったとしても元の社会環境に戻ることはないだろう。コロナ後の自分の登山スタイルを考えるよい機会になった。静かな山か名山か、単独かパーティか、歴史巡りなどのテーマ別山行か、自分の趣向について再確認する機会となった。(今野)

先月末、横浜から娘と孫が穂高に來た。皆で乗鞍高原温泉に行こうと出発。順調に車は進んだが、近づくと路肩駐車場の波。高原では「湯けむり館」の駐車場ははじめ満車状態。「乗鞍ヒルクライム大会」とバッティング。事前調査の大切さを実感した。(塩田)

# ススハハ

No.186 村松 孝一



# 登山時報

©禁無断転載

10月号 No.572 2022年9月15日発行

編集長 今野善伸

副編集長 橋口晴彦

編集 酒井正裕、田上千俊、濱崎優子(進行)

校正 塩田善次郎、鈴木幹雄

DTP・デザイン 来住真太

発行人 川嶋高志

編集人 今野善伸

発行 日本勤労者山岳連盟

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24

TEL 03-3260-6331 メール jwaf@jwaf.jp

印刷 有限会社 カウズ



高校から鈴鹿・奥美濃を中心に登山歴50年

## 愛知県連事務局長を兼任で、今年2月から全国理事に

### ■登山を始めたきっかけ

卒業後2年ほどは鈴鹿の沢登りや雪山など単独行をしていたが、労山の会に入会し、春・夏・冬の合宿にも参加した。会では岩登りの会員はごく希であったが、会で沢での下山遅れ事故が起きたことをきっかけに、県連の登山学校に入り、岩登りを学ばせてもらった。当時はまだ登山靴で登っていた。コーチ陣も東海山岳会などからの会員や藤内壁を猿のように登る会員など優れた方が多く、印象深い登山学校であった。

### ■山の経歴と印象深い山

登山の山域は鈴鹿をはじめ、奥美濃、飛騨、南北アルプス、など。特に奥美濃などは高木泰夫氏の「奥美濃」に触れ自宅から近いこともあり30年ほど登ってきた。

印象深い山は剣岳・立山。会の夏合宿、子供と登った剣岳や、六峰Dフェース・チンネなどは天候と仲間と幸運に恵まれ印象深い山だった。

岩登りはその後仕事などの忙しさや、子供との山登りなどにより遠ざかっている。

### ■今まで取り組んできた活動経歴

同志会では会長を引き継いでから、創立当初からの会則に違和感がありその改定に取り込んだ。当時の総会では特に議論もなく通ってしまったが、目的部分には6項あり「1. 登山を人間の身体と精神の発展にとって欠くことのできない活動と捉え、登山を総合的に発展させる。5. 会の民主的な運営に務めると共に、山の発展に資する。」など、今読んで「も労山運動の理念として決して引けを取らないものではないかと思う。

しかし、会は30〜40名で低迷し、時も存続の危機を感じながら運営してきた。幸い会の若返りやHPの刷新、名古屋市の真ん中での集会とこの努力により100名規模の会を

維持してきている。

### ■今後、取り組んでいきたいこと

近年趣意書の改定が伝えられていくが、その中身ははつきりしない。趣意書などには日常的に使われていない言葉も使われており、それらの正確な理解がされているのかどうか。労山運動の理念ということも言われるが、これにも同様でないか。それらは趣意書の理解だけではなく、趣意書を創った創始者達の考えなど出来るだけ近づき、思いを寄せることも必要。また労山は既に60年余の歴史があるが、それらは諸先輩が築き継承してきた運動の蓄積によるもの。それらは同じ人間のすることだから成果や教訓には同じ共通性があるはずで、逆に良くない面も同様のことと言えるはず。そうした事の中から教訓とすることを整理し、広げていくことは全国連盟としての仕事ではないだろうか。

(聞き手・本誌 今野善伸)



Yoshikawa Koichi

## 吉川幸一さん

1952年愛知県名古屋生まれ。二人兄弟の次男。電気工事管理会社・公的な住宅管理会社に勤め今年四月に退職。所属の名古屋山岳同志会には1973年入会。会では教育・遭対各部長・事務局長・会長を務めてきた。県連での理事は出戻り2回目、現在事務局長・組織部長兼務。理事の時代には自然保護部に所属し、自然保護憲章制定前年の全国自然保護集いに携わってきた。高校2年の時生徒会主催の交流キャンプに出掛け、その縁で名大でワングル部にいたという教師と鈴鹿の雲母峰に行ったのが登山の始まり。

# 地図読み 迷入

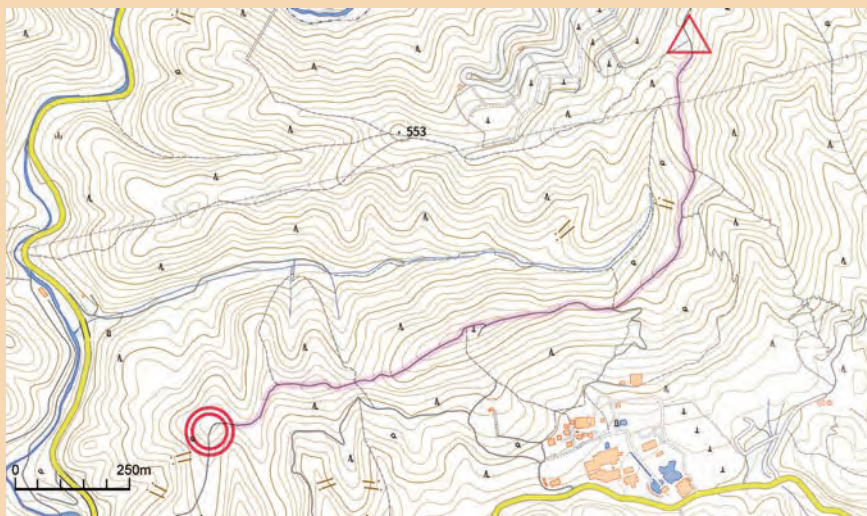
監修・村越真  
宮内佐季子  
小泉成行

Lesson 160

## 道迷いを防ぐ①

### 【問題】

ある3人が地図に描かれたルート（△：出発地、◎：目的地）を見ながら道迷いについて議論しています。ア～クに当てはまる語彙、ならびにX～Zに当てはまる地点がどこか考えてください。（もし皆さんに同じ議論ができる仲間がいるならば、3人の会話を読む前に実際に道迷いについて話し合ってみるのもよいでしょう）



国土地理院地理院図 Vector より作成

- A…このルート、分岐がいつばいあって迷いやすそう。ちゃんと辿れる自信がないわ。
- B…まあ迷っても道路に出られるからなんとかなるんじゃない？
- C…2人ともちょっと冷静に考えてごらん。迷う要素はあまりないと思わない？
- A…どうということ？
- C…進みたいルートは地形的にはずっと（ア）を通っているでしょう？
- B…確かに。分岐する道は（ア）を外れて谷に下る道が多い。
- C…そう。そして進むルートは（イ）が比較的緩いけど、分岐する道のほとんどは（イ）がとも（ウ）になる。
- A…等高線が詰まっていると

- （イ）は（ウ）なのよね。こないだ習ったばかり。
- C…このくらい（イ）に違いがあれば、間違えてもすぐ気づけると思うよ。
- B…道の記号が違うのもヒントにならない？
- A…記号が違う？
- B…行きたいルートの道は（エ）だけど、それ以外は：
- A…徒歩道！ これも習った！
- C…いいところに気が付いたね。だけどそれは必ずしもヒントにならないかもしれないよ。
- A & B…どうということ？
- C…徒歩道と（エ）は幅員の違いで描き分けられるんだ。幅員（オ）m未満だと徒歩道、それ以上だと（エ）。だから徒歩道みたいな道でも幅があれば（エ）で描かれることもあるし、その逆の場合だってある。
- A…うん、（ア）っていう情報だけで行けるかしら？
- B…地図にはない道だってあるかもしれないでしょう？

C…そうだね。でも地形と（イ）の違い、さらにコンパスを使って（カ）を確かめれば確実に選べると思うよ。

B…分岐の形が実際は違うことだってあるでしょう？

C…その場ではそういうこともあるから、少し進んでから（カ）を確かめるのも大事だね。あとはあらかじめ間違えそうな場所を予測しておくのもよいね。例えばどこだろう？

B…1つはスタート地点じゃない？

C…正解。どの方向に進んでも（ア）だし、（イ）も緩い。しっかり（カ）を確かめたいね。そして、そこから少し進んだ（X）。ここも（ア）の分岐で、（ウ）の具合は少し違うけど、道の状況によってはそっちに行ってしまうかも。（カ）が45度くらい違うからコンパスを使えば気づけると思うけど。

A…（Y）はどう？

C…そうだね、この分岐も（イ）

が緩めの（ア）分岐だから現地の状況によっては間違いに気づきにくいかもしれないね。だけど方向が130度くらい違うからコンパスを見ればすぐ気づけるよ。あとはあえて言うならその先の（Z）かな。

B…ここ？道の分岐ではないけど。

C…たしかに（Z）には地図には道がないけど、こういう尾根には道がついていてもおかしくない。さらにこの辺りは等高線上では（キ）になっていないけど、周りの等高線が膨らんでいるので隠れ（キ）になっている可能性もあり、どこにいるのか分からなくなるかもしれないね。

A…行ける気がしてたのに…

B…なんだか自信がなくなってきた…

C…ごめんごめん。不安がらせるつもりはないんだ。今言ったことを確認していれば大丈夫だよ。途中、お墓のある（キ）

や、道の分岐がある（ク）で「ここまで来た」って現在地把握もしやすいね。

B…（ク）はコルとも言うよね。C…そう。君の言う通り間違え

でも遭難することはないだろうから間違えるのも経験、経験。転ばないよう足元には気を付けてね。

### 【解答】

道迷いは山で直面するリスクの1つである。今回の3人は会話を通じてルート上でどんな道迷いが起こり得るか考え、その可能性や損害の大きさを検討し、現地ではどうすればよいか対策を立てるリスクマネジメント（RM）のプロセスを踏んでいる。今回の会話の内容が実際の山行でもきつと役に立つはずだ。道迷いに限らず事前にRMを検討することは、山歩きの楽しみの1つでもある。ぜひ仲間内で話し合ってみてほしい。



ア 尾根、イ 傾斜（斜度など）、ウ 急峻（急、きついなど）、エ 軽車道、オ 1、カ 方向、キ ピーク、ク 鞍部



労山をつなぐ  
ネットワーク  
山の仲間を結ぶ  
会・クラブ紹介 38

## 東三河山ぽ会

愛知県勤労者山岳連盟

「みんなで企画し、みんなで歩く。」

1984年7月の会の発足以来、欠かすことなく月刊で発行してきた会報の表紙に記載されているキャッチフレーズです。まさにこの言葉を地で行く会になります。

会員数は、現在、愛知県で最大規模となる150余名が在籍しており、20代から80代で構成されています。ありがたいことに毎年20名前後の方にご入会いただいております、そこにはもちろん初心者も大勢含まれています。

そこで会としては、例年、主に初心者を対象とした春と秋の登山教室（基礎編）と冬前の登山教室（雪山編）を企画し、それぞれ座学5講座程度と実技山行を実施しています。講師も会員が担当し、受講生はもちろんのこと、教える講師にとっても有意義な教室となっています。

毎月開催される月例山行は、



救助訓練の様子

会員みんなが参加しやすいようレベルの異なる3本を用意し、アルプスなどの百名山や地元山、バリエーションルートや雪山登山、沢登りなどバラエティーに富んでいます。それに加えて、春山や夏山・冬山の合宿も行っており、毎回3〜4本の山行が企画されるのですが、今年の夏山合宿に限っては初級や中級コースを中心に10本もの山行が企画され、会員各々が参加し楽しんでいきます。

これら会主催の山行や自主山行を含めて年400本前後の山



# 日光・高山(1668 m) 戦場ヶ原と中禅寺湖の間にそびえる、 初心者にお奨めの山



赤岩からみる中禅寺湖 向いは半月山

## 菊池素子

野木山想会/栃木

高山は百名山の男体山や日光白根山と較べて知名度はないが、初心者にお奨めの山だ。GW前後にはアカヤシオの群落、6月上旬にはシロヤシオの群落がみられる。龍頭の滝上からの往復だと2時間半、幕張峠を経て石楠花橋経由の周回コースでも3時間の行程だ。今回は高山に加えて中禅寺湖岸歩きと小田代ヶ原をミックスした日光の戦場ヶ原を堪能するコースを紹介したい。小田代を加えたのは、夏の草花があらかた終わっても二十種類以上の花が見られるからだ。

登山口の看板はわかりにくい。が駐車場の南端を西側に進んでいくと山裾野に踏まれた登山道が見つかる。あとは登山道がしっかり整備されているので、コースどおりに進む。6月に訪れた時はセンダイムシクイの鳥の鳴き声が聞こえたが、今日は蝉の鳴き声も聞こえないばかりか、虫の鳴き声ひとつもない静寂な山歩きだ。赤岩までの間、

中禅寺湖を眼下に見下ろせて、対岸の半月山・社山がハッキリとみえる展望が何か所か現れる。代わりに花が迎えてくれたシロヨメナとカリガネソウはどこにでも切れ目なく咲いていた。熊窪は、セルリアンブルーの中禅寺湖岸で癒される絶好の休みポイントだ。熊窪からは樹林帯のなか穏やかな坂道なので山頂まで賑やかにおしゃべりが続く。山頂は広く休むには適しているが景色が無いのが残念である。

下山して幕張峠に到着したら低公害バス道路を左折して15分ほどで小田代ヶ原あずまやに到着する。ここは時計回りで泉門池いずみかどに向かう。植物の宝庫、花のポケット図鑑などと見比べて歩けば至福な時間を過ごせる。泉門池で一服したら終わりも近い、あとは小田代橋を渡ったら木道を通って光徳入り口バス停だ。ここからバスに乗って龍頭の滝まで戻る。



⌚ 龍頭の滝臨時駐車場 > 45分 > 赤岩 > 45分 > 熊窪 > 50分 > 分岐 > 45分 > 高山山頂 > 30分 > 分岐 > 20分 > 幕張峠 > 15分 > 小田代ヶ原 > 50分 > 泉門池 > 30分 > 小田代橋 > 30分 > 光徳入り口 = バス乗車 > 龍頭の滝 約6時間0分

🚌 ◆バス：東武日光駅乗車 龍頭の滝下車。光徳牧場～龍頭の滝410円  
◆奥日光 低公害バス：平日と土日・祝、日の長い時期と短い時期で運行時刻が異なり要チェック。区間内500円。月曜は運休日  
◆車：龍頭の滝臨時駐車場を利用（旧日光プリンスホテル付近）、80台収容可能。

💧 龍頭の滝臨時駐車場にトイレはないので、龍頭の滝下を利用する。小田代ヶ原バス停にバイオトイレがある

🌸 アカヤシオ満開になる4月末～5月上旬、シロヤシオの6月上旬

⌚ 参考タイム 🚌 交通 💧 水場・トイレ 🌸 登山適期



vol.117

# つくい たかこ ちやと たくako を描こう

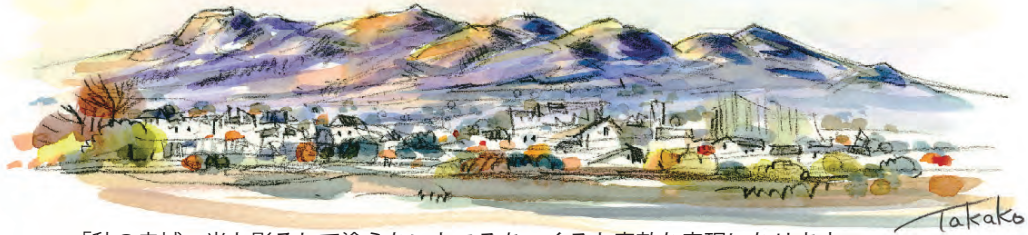


## 円筒は縦に筆を運ぼう

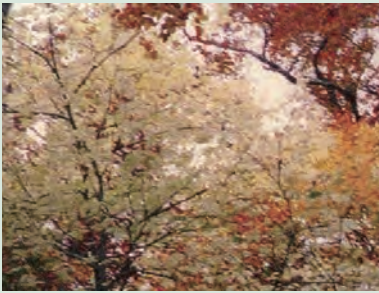
● ボトルなどの円筒形の物を描くとき筆の運び方に注意することがうまく表現できる方法です。円筒の物はすべて縦線で描くようにしましょう

- 1.一回目は光を少し残して二色以上でにじみを入れましょう
- 2.二回目は乾かして その物の色を塗りましょう
- 3.ボトルの影を下にいれましょう

■ ちょっと秘訣 ■ 光の位置は3分の1がいいです



「秋の赤城」光と影そして塗らないところをつくると素敵な表現になります。



## あらかると

### 白い紅葉

石井光造

十月はきのことモミジの季節である。真っ赤な山々がすぐに思い浮かぶ。圧倒的な広さと色合いに驚かされたのは、東北の焼石連峰の天竺山周辺だった。しかし、強く印象に残るのは、一本の樹木がよく目立つ紅葉である。カエデやモミジの赤い色はさまざまになるが、ただ赤いというだけでなく、周りの緑に囲まれて、潑然と輝いているような景色を見ることはなかなかない。こんな偶然に恵まれたのは、千葉の元清澄山（三四四メートル）の下山途中で見た紅葉であった（右写真）。低山であるのに、これでもかというばかりの明るい赤が記憶に残る。

紅葉なのに白い葉に変わり、赤い中に一段と映える塊になるものがある。コシアブラの葉で、まずは黄色に変わり、しだいに色を失って、透明というか白い紅葉になっていく（左写真）。春の山菜として、てんぷらの具として最高といわれるコシアブラの芽は、濃い緑の葉と茶色い細い茎で、まさか透明の紅葉になるとは思えない。

# Yama no 山の自由帳

第10回

篠塚優 カモンカスポーツ山の店・松本店



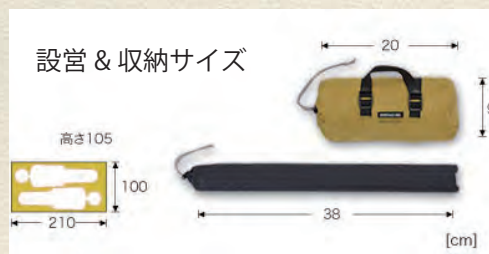
## クロスオーバードーム〈2G〉

Jyuzho



針ノ木峠のテント場は開放的。

2020年にモデルチェンジして発売された第二世代のクロスオーバードームは通気性、耐水圧、引き裂き強度が高くなり、より快適になりました。今回使用したのは1人用サイズで、本体・ポール・スタッフバッグのセットで価格は48,400円(税込)、重さは630g。別売で張網、ペグ、モスキートネットなどがあります。



生活も慣れ、ようやく泊まりで山へ行くゆとりができたのは裏腹に、町から見える北アルプスは雲の中。いよいよしびれを切らし、雨でも楽しめそうなどころへ行こう、とかねてより行ってみたかった船窪小屋宿泊を目的に山へ出かけました。すると、予報に反して初日は高曇り。登っていくと雄大な北アルプスの景色とチングルマのお花畑が迎ええてくれました。小屋についてすぐ、荷物を置いて七倉岳のピークへ。そこから見た針ノ木岳と蓮華岳があまりにかっこよく、「次はあの山に登りたい!」と思いました。

そしてその3週間後、針ノ木岳と蓮華岳に登りました。登山を始めた頃、どこかの山から向かいの稜線を

見て、「次はあそこを歩きたい」と部の顧問の先生に言ったシーンを何かよく覚えていたのですが、あの時のまんま大人になっちゃったもんだな、となんだか可笑しかったです。今回、ソロテント泊で計画したのですが、2日目針ノ木峠から種池山荘を経由して扇沢へ下るちよっぴり長めの行程だったので、36ℓのザックに全部取めて身軽に歩く!を目標に準備をしました。

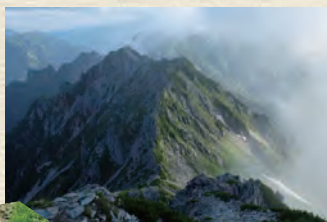
一番のポイント、テントを自立式ツエルトと呼ばれるヘリテイジのクロスオーバードーム(2G)にしたことです。

稜線でツエルトか...と漠然とした不安があつてなかなか踏み出せず、今更になってしまいました。

さて、天候が曇りの中で使用した印象ですが、まず一番気がかりだった結露は、風通しの良いテント場だったためかほぼありませんでした。当たり前ですが結露は環境にとっても左右されそうです。難点だったのは、通気のためにメインジッパーを開けっぱなしにすると虫が入ってしまうこと。ベンチレーターには防虫ネットがつけられるのですが、それだけでは夏場はどうしても暑いので、場所によってはグラッドシー

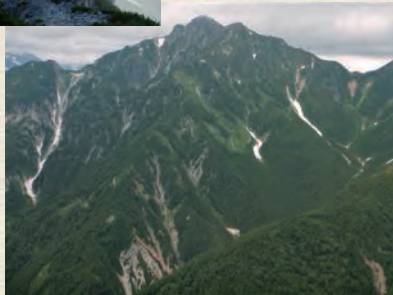
トなど(私はレジャーシートの小さいのを使ってみました)敷いても良いかもしれません。その場合は降雨時に水が集まってこないようにフロアより小さい寸法の物を選びましょう。また、雨の日は入口を開けるたびに中が濡れるので別売りの前室フライをつけるのも◎。

諸々加味しても1泊の縦走では必要充分に感じました。私は山を歩いている時間が1番好きなので、歩くときの負担が減らせる軽量化はもっと早くから挑戦すればよかったなと反省しました。



針ノ木岳山頂でガスがはれ、これから歩く稜線が現れました。いっぱい歩けるの楽しみだなあ。一人でニヤニヤしてました。

荷物が軽い!



七倉岳付近からの針ノ木岳は印象に残る佇まい。



# 大事なものを、 揃っています。

「登山用品専門店」だからこそ  
出来る品揃えと接客サービスで  
安全快適な山行をサポート。

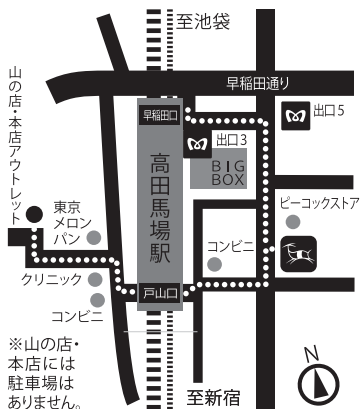


カモシカ 通販

オンラインショップ24hrオープン! / こだわりアイテムと充実の品ぞろえをネットから!

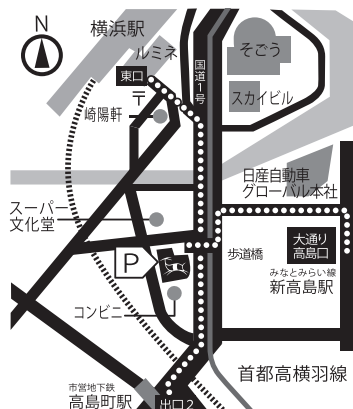
## 山の店・本店

JR高田馬場駅から徒歩3分



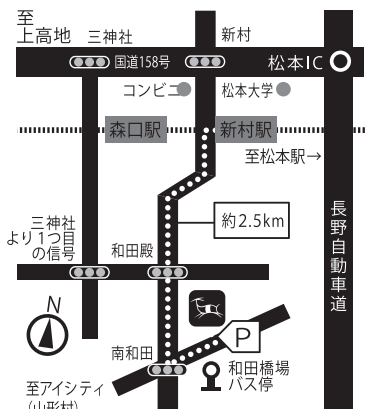
## 山の店・横浜店

JR横浜駅東口から徒歩5分



## 山の店・松本店

松本ICから約6km



## 登山用品専門店 カモシカスポーツ

本店・横浜店 OPEN 11:00 CLOSE 19:30(月~金)/19:00(土日祝) 松本店 OPEN 10:30 CLOSE 19:00

- 山の店・本店 TEL 03-3232-1121 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-28-6・2F
- 山の店・横浜店 TEL 045-440-0711 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-6-32横浜東口・ウイスポーツビル1F
- 山の店・松本店 TEL 0263-48-2424 〒390-1242 長野県松本市和田4478-1

# ハイキング A・B・C 第5版

入荷しました！

1991年の初版発行以来、全国で長年愛用されてきた労山の初心者用テキストが新しくなりました。

主な改訂点は「登山・ハイキングにスマホをどう活用するか」。

他にもネットを使った地図や気象情報の取得など、新しい内容を盛り込みました。

B5判 1部 300円

労山会員・加盟団体は送料無料

30部以上まとめのご注文は、1部につき250円



書名・部数・団体名・送付先を明記し、FAXまたはメールで下記へお申込み下さい

全国連盟事務局 FAX:03-3235-4324 メール:jwaf@jwaf.jp